



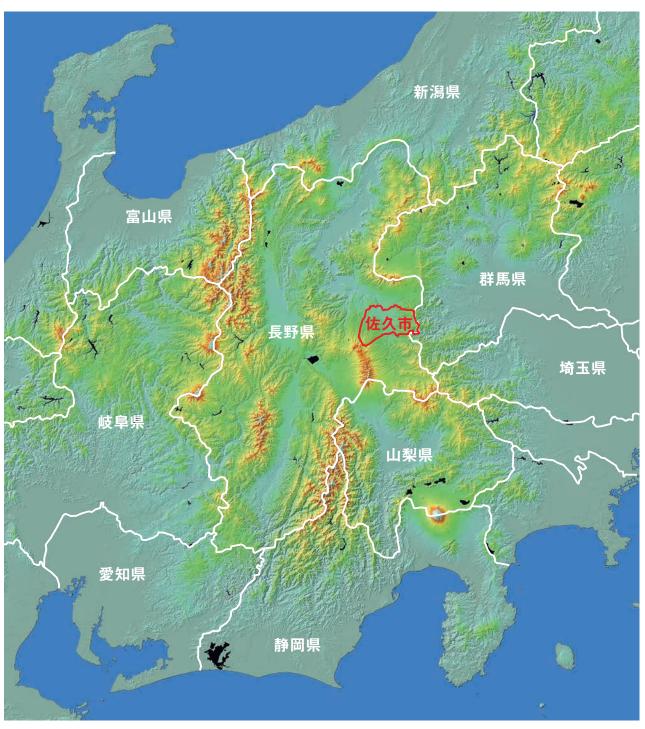




平成 26 年度(2014)

例 言

- 1 本書は佐久市教育委員会が、平成 26 年度に実施した普及啓発活動と埋蔵文化財調査の概要報告 書である。
- 2 本書の編集は小林が行い、埋蔵文化財調査の概要は、各調査担当が執筆した。
- 3 Ⅰ・Ⅱ章については平成27年度佐久市教育要覧の記載に準拠し、一部加筆をした。
- 4 本書に使用した 1:50,000 の地図は、国土地理院長の承認を得て、佐久市が複製したものである。



佐久市の位置

■ 次



市無形民俗文化財 春日本郷地区道祖神祭り

例 言

目 次

口絵

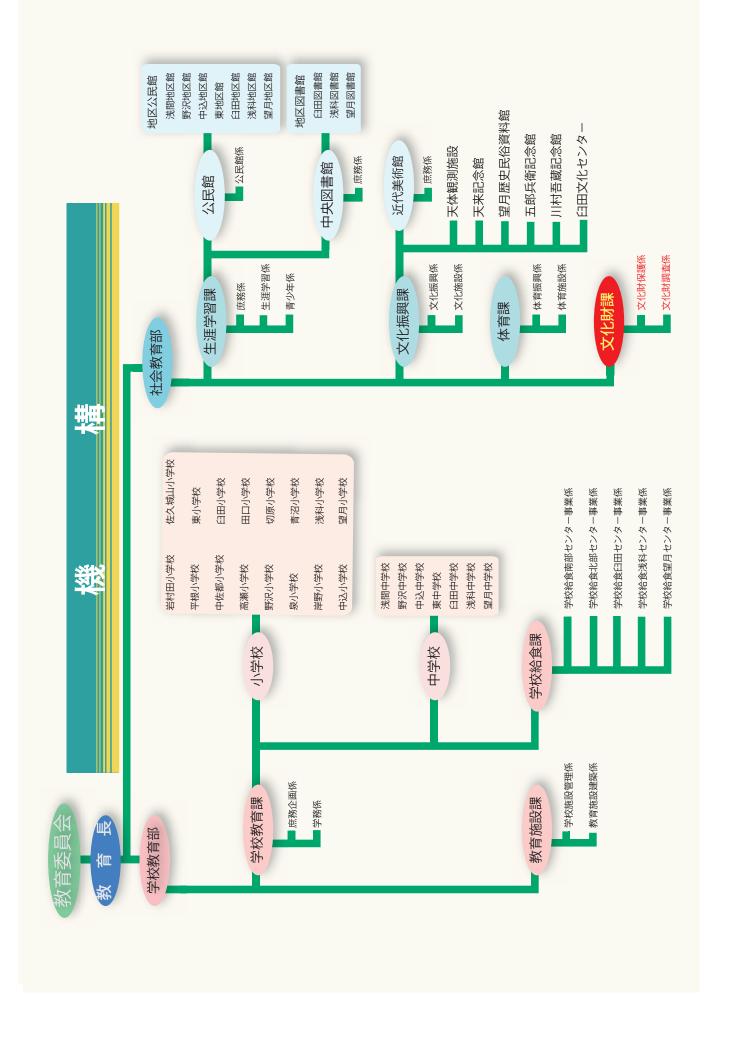
機構

体 制



市無形民俗文化財 榊祭

T	指定文化財保護事業	
1	II W WILLESTON	
	(1) 文化財保護審議会	4
2		
	(1) 国史跡・重要文化財 旧中込学校及び資料館	
	(2) 蒸気機関車・佐久鉄道ガソリンカー	
	(3) 島崎藤村旧宅	
	(4) 国史跡 龍岡城跡	7
	(5) 撮影・掲載	7
II		
1	保護・保存(記録保存)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	(1) 概要	9
	(2) 発掘・整理調査	9
	(3) 整理調査	
	(4) 試掘調査	
	(5) 立合調査	
	(6) 出土遺物保存処理・自然科学分析 ····································	
2 200 17 100	(7) 刊行図書 ····································	14
2		14
	(<mark>1) 第 35 回 少年考古学教室 ····································</mark>	
65	(2) 講座 ···································	
-	(3) 出土遺物展示施設利用状況 ····································	15
	(4) 貸出・撮影・掲載・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
3		19
To the second	1 西八日町遺跡 VII	19
	2 東五里田遺跡 IV ···································	21
875	3 西大門先遺跡	24
	4 直路遺跡 ∨	24
	5 下北原遺跡	
	6 入沢城跡	
4		
5	資料紹介	36



体制

●佐久市教育委員会

教 育 長 土屋盛夫(~平成26年5月)

楜澤晴樹(平成26年5月~)

社会教育部長山浦俊彦文化財課長三石宗一文化財保護係長羽毛田卓也文化財保護係大塚広樹文化財調査係長比田井清美

文化財調査係 小林眞寿 富沢一明 上原学 神津一明 久保浩一郎

林幸彦(嘱託)

文化財保護審議会

会 長 丸山正俊

山崎哲人 春原邦江 佐々木誠一

任期: 平成25年9月1日~平成27年8月31日

●資料館協議会

会 長 小林濱治郎

委 員 石山道泰 上原利三雄 碓氷弘 大貫典子 中山洌 中村八惠子

小平重子

任期:平成25年9月1日~平成27年8月31日



指定文化財保護事業

1 国・県・市指定文化財

佐久市内には、指定文化財が173件(国指定15件、県指定24件、市指定134件)、国登録有形文化財が3件存在します。

以下にその内容を一覧表記します。





国指定	文化財名	名 称	員数	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
1	重要文化財	旧中込学校校舎(附 建築文書 3 点)	1 棟	中 込	佐久市	S44.3.12
2	史 跡	旧中込学校	1 力所	中 込	佐久市	S44.4.12
3	史 跡	龍岡城跡	1 力所	田口	佐久市	S9.5.1
4	重要文化財	紙本着色一遍上人絵伝 巻第二	1巻	野 沢	金台寺	S9.1.30
5	重要文化財	紙本墨書他阿上人自筆仮名消息	1 軸	野沢	金台寺	S9.1.30
6	重要文化財	駒形神社本殿(附 棟札4枚)	1棟	塚原	駒形神社	S24.5.30
7		鉄 鐘	1 □	跡部	個人	S52.6.11
8	重要文化財	新海三社神社三重塔	1基	田口	新海三社神社	M40.8.28
9	重要文化財	新海三社神社東本社	1 棟	田口	新海三社神社	S12.7.29
10	重要文化財	六地蔵幢	1基	入 沢	佐久市	S36.3.23
11	重要文化財	高良社(旧八幡神社本殿)	1 棟	蓬田	八幡神社	S17.12.22
12	重要文化財	福王寺の木造阿弥陀如来坐像	1 体	協和	福王寺	S25.8.29
13	重要文化財	真山家住宅	2棟	望月	個人	S48.6.2
14	重要無形民俗文化財	跡部の踊り念仏	1つ	跡部	跡部踊り念仏保存会	H12.12.27
15	天然記念物	岩村田ヒカリゴケ産地	1 カ所	岩村田	佐久市	T10.3.3

●県指定文化財一覧表

県指定	文化財名	名称	員数	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
16	県 宝	木造阿弥陀如来坐像	1体	岩村田	西念寺	S34.11.9
17	県 宝	刀	1 🗆	瀬戸	個人	S.41.3.17
18	県 宝	木造地蔵菩薩半跏倚像	1体	根々井	正法寺	S44.5.15
19	県 宝	版本大般若経	577巻	安 原	安養寺	S63.3.24
20	県 宝	貞祥寺三重塔	1基	前山	貞祥寺	H4.9.10
21	県 宝	木造阿弥陀如来及び両脇侍立像	3体	安 原	安養寺	H6.8.15
22	県 宝	安養寺の木造伝法燈国師坐像	1体	安 原	安養寺	H22.10.19
23	県 宝	貞祥寺惣門及び山門	2門	前 山	貞祥寺	H15.4.21
24	県 宝	井出家座敷	1室	臼 田	個人	S50.7.21
25	県 宝	上宮寺梵鐘	1基	田口	上宮寺	S52.3.31
26	県 宝	鋳銅箔鍍金花瓶	1 🗆	臼 田	弥勒寺	S61.3.27
27	県 宝	金剛力士像	2体	田口	上宮寺	H21.4.20
28	無形民俗文化財	湯原神社式三番	1つ	湯原	湯原神社式三番保存会	S56.2.2
29	史 跡	三河田大塚古墳	1基	三河田	個人	S37.7.12
30	史 跡	伴野城跡	1 ケ所	野沢	大伴神社•佐久市	S40.4.30
31	史 跡	根井氏館跡	1 ケ所	根々井	正法寺	S40.7.29
32	史 跡	北高禅師墓碑	1基	岩村田	能雲寺	S44.10.2
33	史 跡	岩尾城跡	1 ケ所	鳴瀬	個人39人	S46.5.27
34	史 跡	平賀氏城跡	1 ケ所	常和	個人37人	S46.5.27
35	史 跡	大井城跡(王城・黒岩城)	2 ケ所	岩村田	個人34人	S46.5.27
36	史 跡	五郎兵衛用水跡	1路	望月・浅	佐久市・国土交通省	S58.12.26
37	天然記念物	王城のケヤキ	1本	岩村田	荒宿十二社	S61.3.27
38	天然記念物	広川原の洞穴群	11穴9	田口	禅昌寺・個人	S51.3.29
39	天然記念物	臼田トンネル産の古型マンモス化石	49 点	取出町	佐久市	H25.3.25

●市指定文化財一覧表 1

指定	文化財名	名 称	員数	所在地	所有者又は継承者	指定年月
40	有形文化財	金台寺の鉦	1 🗆	野沢	金台寺	S46.10.1
41	有形文化財	竹田の鉦 (一)	1 🗆	根岸	個人	S46.10.1
42	有形文化財	竹田の鉦 (二)	1 🗆	根岸	個人	S46.10.1
43	有形文化財	平賀村中善寺大般若経	600巻	平賀	中善寺	S49.12.1
44	有形文化財	下桜井村寛永の五人組帳	1 #	桜井	個人	S49.12.1
45	有形文化財	永禄十一年上原筑前御恩御検地帳	2 冊	瀬戸	個人	\$49.12.1
46	有形文化財	平尾大社本殿	1棟	上平尾	平尾大社	S49.12.1
47	有形文化財	取出町百番観音	100体	取出町	取出町区	S49.12.1
48	有形文化財	桃源院木造地蔵菩薩坐像	1体	鳴瀬	桃源院	\$49.12.1
49	有形文化財	大沢村旧長命寺仁王堂應永在銘石柱	1柱	大 沢	長命寺	\$54.9.25
50	有形文化財	暦應在銘板碑	1基	中込	正楽寺	S57.3.1
51	有形文化財	龍雲寺の中世文書	3 8点	岩村田	能雲寺	S62.10.2
52	有形文化財	安養寺の中世文書	7点	安原	安養寺	S62.10.20
53	有形文化財	上直路遺跡出土遺物	一括		佐久市	S62.10.20
54	有形文化財	東一本柳古墳出土遺物	一括	_	佐久市	S62.10.2
55	有形文化財	北西ノ久保遺跡出土の埴輪	一括	_	佐久市	S62.10.20
56	有形文化財	周防畑B遺跡出土遺物	一括	_	佐久市	S62.10.2
57	有形文化財	中道遺跡出土遺物	一括	_	佐久市	S62.10.2
58	有形文化財	瀧ノ峯古墳群出土遺物	一括	_	佐久市	S62.10.2
59	有形文化財	後沢遺跡出土遺物	一括	_	佐久市	S62.10.2
60	有形文化財	大井法華堂修験関係文書	859点	岩村田	個人	H1.11.6
61	有形文化財	木造愛染明王坐像および脇侍木造両界大日如来坐像	3体	志賀	法禅寺	H1.11.6
62	有形文化財	旧大沢小学校	1棟	大沢	佐久市	H8.6.6
63	有形文化財	倉沢薬師堂(附 宮殿、石造薬師如来立像、加舎白雄自筆奉納俳額)	1棟	前山	貞祥寺	H10.4.30
64	有形文化財	岩村田若宮神社祇園社神輿	1 基	岩村田	荒宿区	H24.6.28
65	有形文化財	正法寺多層塔	1基	根々井	正法寺	H10.12.2
66	有形文化財	相沢寺仏面	41面	白田	相沢寺	S48.3.10
67	有形文化財	田野口藩陣屋日記	372冊	— Ш —	佐久市	S50.11.2
68	有形文化財	湯原神社青銅鰐口	1 🗆	湯原	湯原神社	S52.3.31
69	有形文化財	大宮諏訪神社青銅鰐口	1 🗆	入沢	大宮諏訪神社	S52.3.31
70	有形文化財	信濃奇勝録版木	1組	白田	個人	S52.3.31
71	有形文化財	滝秩父札所観音石仏	3 4 尊	湯原	湯原区	S53.2.17
72	有形文化財	水落観音町石石仏	13尊	田口	水落山観音院	S53.2.17
73	有形文化財	相沢寺平鉦	1 🗆	白田	相沢寺	S54.3.31
74	有形文化財		1基		弥勒寺	S54.3.31
75	有形文化財	医王寺板碑	1基	白田	医王寺	S54.3.31
76	有形文化財		1基		新海三社神社	S55.3.31
77	有形文化財	岩水秩父札所観音木像	3 4 体	平林	岩水区	S55.3.31
78	有形文化財	大宮諏訪神社石棒	1本	入 沢	大宮諏訪神社	S57.4.1
79	有形文化財	解体人形	1体	田口	個人	S57.4.1
80	有形文化財	磨崖石仏群	5基	三分	三分区	S58.3.25
81	有形文化財	嫗の石像	1体	下小田切	下小田切区	S58.3.25
82	有形文化財	大日宝塔	4基	三分	遍照寺	S58.3.25
83	有形文化財	丸山家中世古文書	3点	田口	個人	S58.3.25
84	有形文化財	新海三社神社中世古文書	3点	田口	新海三社神社	S58.3.25
85	有形文化財	小太刀古狐丸	1振	入 沢	個人	S60.3.28
86	有形文化財	地獄極楽図	2軸		弥勒寺	S62.3.25
87	有形文化財	入沢焼茶壺	1点		佐久市	S63.4.18
88	有形文化財	物部の銅印	1個	清川	個人	H5.7.1
89	有形文化財	蕨手刀	1振		佐久市	H5.7.1
90	有形文化財	金売具	1組	_	佐久市	H5.7.1
91	有形文化財	山宮家中世古文書	4点	田口	個人	H8.5.1
92	有形文化財	龍岡藩高札場	1 棟	田口	佐久市	H9.4.1
93	有形文化財	日影堂百番観音木像	100体一式	白田	医王寺	H9.4.1
94	有形文化財	吉祥寺山門	1 棟	入沢	吉祥寺	H10.4.1
95	有形文化財	薬師堂薬師三尊像	3体	入沢	日向 一族	H10.4.1
96	有形文化財	泉龍院涅槃図	1軸	中小田切	泉龍院	H12.3.27
97	有形文化財	磨崖青面金剛	1 尊	田口	個人	H14.3.6
U 1	有形文化財	新海三社神社中本社·西本社	2棟		新海三社神社	H14.3.6



●市指定文化財一覧表 2

市指定	文化財名	名 称	員数	所在地	- - - 所有者又は継承者	指定年月日
99	有形文化財	大宮諏訪神社本殿	1 棟	入 沢	大宮諏訪神社	H15.3.6
100	有形文化財	三条神社本殿	1 棟	入沢	三条区	H15.3.6
101	有形文化財	矢島の五輪塔	1基	矢 島	宝泉寺	S25.12.1
102	有形文化財	五輪塔群	1群	塩名田	塩名田区	S47.8.1
103	有形文化財	山の神石祠	1 基	御馬寄	御馬寄区	S56.8.1
104	有形文化財	石仏十王像	5 尊	御馬寄	御馬寄区	S56.8.1
105	有形文化財	矢島道祖神	1基	矢 島	矢島区	S62.10.1
106	有形文化財	長念寺の木造阿弥陀如来立像及び胎内文書	1体	甲	長念寺	H9.2.20
107	有形文化財	八幡神社の算額	1面	八幡	八幡神社	H9.2.20
108	有形文化財	八幡神社の瑞垣門	1 棟	八幡	八幡神社	H9.2.20
109	有形文化財	八幡神社の随身門	1 棟	八幡	八幡神社	H9.2.20
110	有形文化財	八幡神社の本殿	1棟	八幡	八幡神社	H9.2.20
111	有形文化財	百番観音石仏群	100尊	春日	個人	\$61.9.10
112	有形文化財	市川家の石造大日如来	1体	布施	個人	S61.9.10
113	有形文化財	城光院の石造庚申塔	1基	望月	城光院	S61.9.10
114	有形文化財	城光院の石造大工名	10尊	望月	城光院	S61.9.10
115	有形文化財	城光院の石造宝篋印塔	4基	望月	城光院	S61.9.10
116	有形文化財	万治の石造大日如来	1体	協和	個人	S61.9.10
117	有形文化財	福王寺の石造庚申塔	1基	協和	福王寺	S61.9.10
117	有形文化財	福王寺の右垣灰中埼福王寺の木造日光菩薩立像	1 体	協和	福王寺	S61.9.10
119	有形文化財	福王寺の木造月光菩薩立像	1体	協和	福王寺	S61.9.10
120	有形文化財	福王寺の木造雨宝童子立像	1体	協和	福王寺	S61.9.10
121	有形文化財	福王寺の木造毘沙門天立像	1体	協和	福王寺	S61.9.10
122	有形文化財	月輪寺跡の石造笠塔婆	1基	印内	印内区	S61.9.10
123	有形文化財	天神の元禄の石造双体道祖神	1 体	協和	天神区	S61.9.10
123	有形文化財	入布施の石造片手合掌双体道祖神	1体	布 施	入布施区	S61.9.10
125	有形文化財	牧布施の石造庚申塔	1基	布 施	牧布施区	S61.9.10
125	有形文化財	不動明王立像	1 体	春日	蓮華寺	H20.6.13
127	有形文化財	福王寺絹本着色愛染明王像	1体	協和	福王寺	H26.4.24
128	無形民俗文化財	岩村田祇園におけるお船様祭り	17	岩村田	荒宿区	S58.9.1
129	無形民俗文化財	鳥追い祭り	10	甲	鳥追い祭り保存会	H9.2.20
130	無形民俗文化財	岩下の踊り念仏	10	春日	岩下踊り念仏保存会	S61.9.10
131	無形民俗文化財	根神社の式三番叟	10	春日	根神社式三番叟保存会	
132	無形民俗文化財	榊祭	1つ	望月	望月区	S61.9.10
133	無形民俗文化財	春日本郷地区道祖神祭り	1つ	春日	春日本郷地区	H10.2.20
134	史跡	大梅禅師墓碑	1 基	内山	正安寺	S45.10.1
135	史 跡	鵜縄沢端一里塚東塚	1基	岩村田	個人	S45.10.1
136	史跡	安原大塚古墳	1基	安原	英多神社	S45.10.1
137	史 跡	北西ノ久保の石造塔婆群	1群	岩村田	佐久大学	S49.12.1
138	史跡	正楽院の供養塔	1基	平賀	長福寺	S49.12.1
139	史 跡	前山城跡	1 /所	前山	個人11人	S56.4.23
140	史跡	瀧ノ峯古墳群	4基	根岸	個人6名	S62.10.20
141	史 跡 史 跡	後沢遺跡	1 /所	小宮山	佐久市 佐久市	S62.10.20
142		蛇塚古墳	1基	白田		S47.5.5
143	史跡	幸神古墳群	4基	7 30	新海三社神社	S47.5.5
144	史 跡	西の窪19号古墳	1基	入沢	個人	S47.5.5
145	史 跡	塩名田本陣跡	1棟	塩名田	個人	S25.12.1
146	史跡	御馬寄古城跡	1ヶ所	御馬寄	個人	S25.12.1
147	史 跡	土合一号古墳	1基	里	個人	S25.12.1
148	史跡	火の雨塚古墳	1基	桑山	個人	S25.12.1
149	史 跡	虚空蔵のろし台跡	1ヶ所	矢 島	八幡神社	S25.12.1
150	史 跡	舟つなぎ石	1	塩名田	国土交通省	S25.12.1
151	史 跡	野馬除け柵跡	数力所	御牧原	個人	S35.8.15
152	史 跡	中山道一里塚跡	1ヶ所	甲	個人	H9.2.20
153	史 跡	八幡宿本陣跡	1ヶ所	八幡	個人	H9.2.20
154	史 跡	兜山古墳	2基	八幡・蓬田	個人	H16.11.24
155	史 跡	下吹上遺跡	1 ケ所	協和	佐久市	S61.9.10
156	史 跡	中山道		布施・望月・茂田井	佐久市	S61.9.10

●市指定文化財一覧表 3

市指定	文化財名	名 称	員数	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
157	史 跡	王塚古墳	1基	協和	比田井区	S61.9.10
158	名 勝	皎月原	1 ケ所	小田井	佐久市	S53.2.1
159	天然記念物	白山神社イチイの古樹	1本	常和	白山神社	S45.10.1
160	天然記念物	野沢町の女男木	1本	野沢	大伴神社	S46.10.1
161	天然記念物	チョウゲンボウ	生息地 2ヶ所	伴野・鳴瀬	_	S53.2.1
162	天然記念物	お神明の三本松	1本	上小田切	上小田切西区	S47.5.5
163	天然記念物	入沢風穴	1 ケ所	入 沢	個人	S48.3.10
164	天然記念物	キレハエビラシダ	1群	上小田切	上小田切区	S63.11.21
165	天然記念物	黒沢家 コナラ	1本	湯原	黒沢家	H16.2.13
166	天然記念物	児落場峠天然カラマツ	1本	入 沢	佐久市	H16.2.13
167	天然記念物	関所破りの桜	1本	甲	個人	S44.5.15
168	天然記念物	勝手神社のケヤキの木	1本	御馬寄	勝手神社	H15.10.30
169	天然記念物	山の神のコナラ群	1群	春日	春日財産区	H9.3.14
170	天然記念物	小野山家のエドヒガン	1本	春日	個人	H9.3.14
171	天然記念物	蓮華寺のスギ	1本	春日	蓮華寺	H9.3.14
172	天然記念物	大井家のエドヒガン	1本	協和	個人	H9.3.14
173	天然記念物	福王寺のヒイラギ	1本	協和	福王寺	H9.3.14

キレハエビラシダは絶滅が確認されたため、平成27年2月16日指定が解除された。

●国登録有形文化財一覧表

国登録	文	化則	招	名	尓	員数	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
1	建	造	物	武重本家酒造及び武重家住宅	宅	30 棟	茂田井	個人	H12.4.21
2	建	造	物	市川家住宅主屋と土蔵		2 棟	中 込	個人	H17.6.17
3	建	造	物	佐藤家住宅主屋 他7件		8件	協和	個人	H23.7.15

(1) 文化財保護審議会

- ■平成 26 年 4 月 23 日 (水)
- (1) 協議事項

福王寺絹本着色愛染明王像の文化財指定について

(2) 報告事項

重要文化財旧中込学校防災修理整備工事について 佐久市天然記念物児落場峠天然カラマツ樹勢診断 結果について

平成 26 年 2 月大雪に係る文化財状況について 平成 25 年度文化財の補修等について

■平成26年11月7日(金)

(1) 報告事項

指定文化財の現状変更について 蛇塚古墳出土蕨手刀 北西ノ久保遺跡出土埴輪 キレハエビシダについて 王城のケヤキについて

福王寺絹本着色愛染明王像について

龍岡藩の掛軸について

(2) 文化財パトロール

田口個人住宅-母屋の登録有形文化財指定が可 能かどうか視察

旧大沢小学校-アルミ窓枠を木の窓枠に戻したい



福王寺絹本着色愛染明王像(②福王寺)



との要望について、 アルミ窓枠の状況、 木の窓枠の保管状況 の確認。

旧中込学校-工事 の進行状況確認

皎月原一桜等、支



キレハエビラシダ

障木の確認

- ■平成27年2月16日(月)
- (1) 協議事項

キレハエビラシダの市指定文化財の解除について

(2) 報告事項

福王寺絹本着色愛染明王像の県宝指定について 平成26年度事業報告について 平成27年度事業予定について

2 普及・公開

- (1) 国史跡・重要文化財 旧中込学校及び資料館
- ■位置 佐久市中込 1877 番地
- ■電話 0267 62 7845 (管理事務所)
- ■建物の歴史

明治8年4月20日 着工 明治8年12月25日 竣工 昭和41年1月27日 長野県宝指定 昭和44年3月12日 国重要文化財指定 昭和44年4月12日 国史跡指定 昭和46年8月1日 保存解体修理着手 昭和48年6月30日 保存解体修理終了 平成7年1月~12月 保存修理事業 平成25年11月~平成27年6月

防災修理整備事業

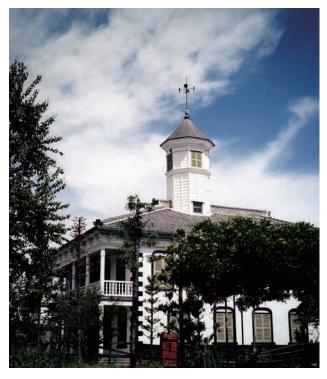
■概要 明治5年の学制発布に伴い下中込村、今井



旧中込学校付属資料館

村、三河田村三村の組合立として、明治6年の9月 に、小林寺を仮校舎にあて、「成知学校」が設立さ れました。

明治7年に校舎新築を決定、翌明治8年2月に建設位置を決定し用地買収を行い、同年4月に工事着手、同年12月に落成、同日移転開校しました。旧中込学校は我が国に現存する擬洋風学校としては、最も古い学校建築物のひとつです。



明治9年5月には校名を「第6大学区第17中学区第7番中込学校」と改称し、大正8年の新校舎建築まで使用され、その後は、昭和43年まで市役所分室などに転用されました。

建築費用(6,098円51銭8厘)は、ほとんどを村内全戸及び近隣の篤志者による寄付金でまかない、設計・建築は地元下中込村出身で、明治2年から4年余り渡米して西洋建築を学んだと伝えられている市川代治郎に請負わせ、最新の洋式建築が取り入れられました。

中央の八角の塔の天井から太鼓を吊るして時を告げたことから「太鼓楼」、 また、窓にガラスを使用したことから「ギヤマン学校」とも呼ばれ、当時は見学者が後を絶たなかったといわれています。

昭和41年に長野県宝、昭和44年には重要文化 財及び国史跡の指定を受け、建築関係文書3点も附 帯指定されています。

昭和46年から昭和48年まで解体復元工事、平成7年には保存修理工事を実施しました。

■構造及び形式

木造二階建 寄棟造 妻入 桟瓦葺 八角塔屋付本屋:間口7間(12.8 m)、奥行11間(20.0 m)、高さ5丈8尺(17.6 m)、一階81坪(267.5㎡)、二階77坪(254.3㎡)

一階は玄関ポーチ、生徒控所、小使部屋、小使所、 第一教場、講堂があり、二階は中央に廊下をとり、 前面にベランダを付し、南側三室、北側三室である。 太鼓楼は八角、各辺 1.06 メートル、二階の中央 階段より昇る。

開館時間

4月~10月:9時~17時 11月~3月:9時~16時

■休館日

a 毎週月曜日

b国民の祝日の翌日(祝日が月曜日のときはその 翌日)

c 年末年始(12月29日~1月3日)

観覧料

		_	- 般	学生等				
区分			団体	大学生・高校生		中学生・小学生		
					個人	団体		団体
			(20 人以上)	四八	(20 人以上)		(20 人以上)	
観覽		250円	200円	150円	120円	120円	100円	

■旧中込学校・資料館年度別観覧者一覧

年 度	公開 日数	一般	大 学 高校生			備考
平成 22 年度	306	5904	163	1847	7914	
平成 23 年度	308	6856	104	1536	8496	
平成 24 年度	309	5811	86	1669	7566	
平成 25 年度	293	6266	96	1597	7959	工事のため 3/17 から休館
平成 26 年度	0		防災値	修理整備	打事の	ため休館

旧中込学校保存整備

平成21年度において実施した旧中込学校校舎の保有耐震性能調査、耐震基礎診断結果を基に、平成25年度から平成27年度にかけて耐震補強及び部分修理工事を実施しています。これに伴い、平成26年3月17日から平成27年6月30日まで休館となっています。

資料館協議会

平成26年5月9日(金)

(2) ガソリンカー及び蒸気機関車(見学無料)

- ■旧中込学校付属資料館南隣りに公開展示
- ■ガソリンカー「キホハニ 56 号」 JR 小海線の前身佐久鉄道で昭和 5 年から県下で



ガソリンカー・蒸気機関車

初めて使用され、第2次世界大戦まで活躍した。

■蒸気機関車「SL: C56 101 号 |

C56型蒸気機関車は、昭和10年にC12型の改良型として164両が製造され、全長14.3 m、高さ3.9 mで出力505 馬力・最高速度75 km/hの性能でした。小海線を走るC56型蒸気機関車は、昭和10年小海線全線開通とともに配置され、以後「高原のポニー(仔馬)」と呼ばれ人々に親しまれたが、昭和47年12月に鉄路よりその姿を消しました。

(3) 島崎藤村旧宅(前山貞祥寺敷地内)

■概要 藤村(本名:春樹1872~1943)が、1899年(明治32年)4月小諸義塾教師として小諸へ赴任してきてから1905年(明治38年)4月同教師を辞するまでの6年間をこの家で過ごしました。この家は、大正9年、本間邸の一部として佐久市前山南に移転されたが、藤村生誕100年を迎えた1972年(昭和47年)、本間氏をはじめ諸方面の理解と協力に基づき、昭和48年から49年に解体復元工事を行い、現在に至っています。

毎年、4月下旬から11月上旬(11月中旬から4月中旬は閉館)まで公開しています。

- ■構造概要 木造茅葺平屋建 35.5 坪(117.3 m)
- ■開館時間 9時30分~15時30分



藤村旧宅



- ■休 館 日 毎週月曜日及び木曜日(祝日のときは その翌日)
- ■観覧料 無料
- ■島崎藤村旧宅年度別観覧者一覧

			平成 24 年度		平成 26 年度
	148 日	149 日	149 日	149 日	149 日
観覧者数	2,090人	2,063 人	1,867 人	1,715 人	1,977 人

(4) 国史跡 龍岡城跡

■築城の概要 この城を築いたのは、大給松平最後の11代目藩主松平乗謨。乗謨の松平家は家康より5代前の親忠の時に分家した徳川の一族で大給松平といわれた。代々三河の奥殿(愛知県岡崎市)に本領を置き、奥殿に4千石の領地のほか、摂津、河内、丹波の3カ国に1万2千石を持っていた。宝永元年(1704)3カ国の1万2千石が信州佐久に移され、以来160年間、佐久には陣屋を置いて統治していた。

文久2年(1862)幕府は参勤交代制の緩和政策をとり、妻子は帰国させることにした。当時の情勢は、薩長を中心とする幕府打倒の動きから東海道に面した三河・奥殿藩のような小藩は両勢力の対立の中では危険が多く、家族を国元に帰すには奥殿より佐久の方が安全であること等から信州への本領替えを決意した。

文久3年本領替えの許可がおり、翌元治元年(1864)着工、足掛け4年、慶応3年(1867)に新陣屋五稜郭は完成した。藩主乗謨は学才識見ともにすぐれた英主で、幕府の陸軍奉公、老中格、陸軍総裁などの要職につき、開国論者であり洋学に詳しく、練兵は他藩に先んじてフランス式を採用していた。

このため築城にあたっては、フランスのボーバン 元帥が考案したといわれる星形稜堡の洋式築城法で



国史跡龍岡城跡

築城された。石垣工事には、洋式築城に経験のある 高遠藩から棟梁と石工60人を招いた。日本で最後 に完成した城で、函館五稜郭とともに日本に二つし かない五つの角をもつ星形稜堡の洋式の城である。 明治4年、廃藩とともに新陣屋五稜郭の土地・建物 はほとんど処分された。大広間、書院、東通用門、 薬医門は買い取られて市内に残っている。御台所だ けは引き取り手がなく、明治5年学制発布により、 学校としての使用申請が認められたため、唯一の遺 構として残された。明治8年から学校として内部を 改造して使用され、昭和4年現在地に移され、昭和 35、36年にわたり半解体復元工事が行われた。堀 はもとの持ち主に返されたが、いつしか埋められ 畑に変わって桑の木が一面に植えられた。(明治30 年頃のこと。) 昭和7年、堀をもう一度掘り起こそ うと旧田口村の人たちが村をあげて復元にとりかか り、昭和8年、堀はもとの姿を取り戻し、翌昭和9 年、文部省から史跡に指定され

た。

■築城の大要

総 面	積	2	20,175	坪	(66,694m²)
内	城		5,640) 坪	(18,645m²)
外	城		14,535	5 坪	(48,049m²)
堀	幅		4	1 間	(7.27 m)
		大手門	月前 5	間	(9.09 m)
土	塁	高さ	7尺5	寸	(2.27 m)
		巾	4	目間	(7.27 m)
周 囲	堀	長さ	375	間	(682 m)
		深さ	1丈2	2尺	(3.64 m)
総費	用	4万円	余		
普請奉	经公	家老	出井甚	助之:	進

■龍岡城跡保存管理計画の策定

今後、国史跡龍岡城跡を適切に保存・管理し、具体的方針を示して活用していくことを目的として、次世代へ確実に引き継ぐために龍岡城跡保存管理計画を策定しました。(計画策定年度:平成23年度~24年度)

(5) 撮影・掲載

文化財の撮影・掲載(放映を含む)は、旧中込学校、龍岡城を中心に25件ありました。

●平成 26 年度 文化財 撮影・掲載一覧表

資料名	申 請 者	目的	期間
国史跡龍岡城航空写真	中央公論新社	中公新書「幕末維新の城」に掲載	平成 26 年 5 月 25 日刊行
旧中込学校・藤村旧宅紹介記事	㈱まちなみカントリープレス	KURA5月号掲載	平成 26 年 4 月 20 日発行
旧中込学校紹介記事	㈱エディトルーム・カノン	旺文社「たびまる軽い沢」再掲載	平成 26 年 6 月 25 日刊行
旧中込学校写真	㈱まちなみカントリープレス	ガイドのとらシリ - ズ「信州裏ガイド」に掲載	平成 26 年 4 月末日刊行予定
旧中込学校写真(ステンドグラス)	佐久市子育て支援課	佐久市オールマイティパスに掲載	
佐久市志歴史編(2)掲載の 「遊行上人縁起絵」金台寺本踊り 念仏の絵、「遊行上人縁起絵」金 台寺本 詞書の写真 2 点	跡部踊り念仏保存会	「跡部の踊念仏 - その歴史と現在」に掲載	平成 26 年 7 月末日刊行予定
国天然記念物ヒカリゴケの取材	NHK長野放送局	ローカルニュース番組「イブニング信州」で紹介	平成 26 年 6 月 24 日取材、26 日放映
龍岡城跡の取材	テレビ信州	「ゆうがた Get !」で紹介	平成 26 年 6 月 24 日取材、30 日放映
龍岡城跡全景写真データ	佐久市観光交流推進課長	「毎日旅行新聞」、「KURA 軽井沢」、「るるぶ FREE 軽井沢夏号」への掲載	
龍岡城跡紹介記事	㈱まちなみカントリープレス	「ガイドのとら 信州大人旅 2014 年版」に掲載	平成 26 年 7 月 28 日発行
龍岡城跡全景写真データ	佐久市観光交流推進課長	長野県観光マップに掲載	
広川原の洞穴群 最勝洞の入口付近、内部の写真	e まちタウン㈱タウン事業部	「街スキ」10月号に掲載	平成 26 年 10 月 1 日発行
「稲田養鯉の図」写真データ	日本テレビ	「シューイチ」内での画像使用	H26年9月14日放映
藤村旧宅・龍岡城跡写真	(株) MAP & NEWS.net	ゼンリン WEB サイト等に紹介するため	平成 26 年 3 月 28 日~ 4 月 28 日
龍岡城跡の航空写真	オフィスリトル	実業之日本社 じっぴコンパクト新書 「意外と知らない信州の歴史を読み解く!長野 『地理・地名・地図』の謎」に掲載	平成 26 年 10 月刊行
佐久市志歴史編(三)掲載の 寛保2年太田部村の水害の図 (P585) 寛保2年下中込村の水害の図 (P588)	個人	プログに掲載するため	
龍岡城五稜郭の桜の写真	クラブツーリズム株式会社	クラブツーリズム株式会社会員向け「旅の友」 及び同社ホームページに掲載	
龍岡城跡の画像 4 点	㈱碧水社	週刊「日本の城」第 94 号に掲載	平成 26 年 10 月 28 日刊行
絹本著色愛染明王像の写真 3 点	長野県教育委員会	県宝指定に係る資料等に掲載	
国天然記念物ヒカリゴケの写真	(株)ユーフィールド	フジテレビ「この目でミステリー」内で使用	平成 26 年 12 月 30 日放映
旧中込学校写真	JTB パブリッシング	るるぶ.com 等に掲載	
龍岡城跡の航空写真	(株)碧水社	週刊「日本の城」第 116 号に掲載	平成 27 年 4 月 14 日刊行
旧中込学校写真	長野県文化財保護協議会	「文化財信濃」第 42 巻第 1 号(通巻 154 号) に掲載	平成 27 年 4 月下旬刊行
龍岡城にかかわる図面等 5 点	(株)堀内組	(㈱堀内組ホームページ、会社案内、広告チラシ等に 掲載するための写真撮影を行う	平成 27 年 3 月 16 日~ 18 日
龍岡城跡の撮影	長野朝日放送(株)	「信州の桜」をテーマに地上・空中撮影を行う	平成 28 年 3 月~ 5 月頃放送予定



龍岡城五稜郭の ←桜 空中写真→





ヒカリゴケ



旧中込学校のステンドグラス



II 文化財調査事業

保護・保存(記録保存)

(1) 概要

国民共有の財産であると同時に、地域の歴史と文化に根ざした歴史的遺産である埋蔵文化財の保護・保存及び調査・研究を行い、その成果を出土品の展示や説明会・少年考古学教室の開催、歴史講座の実施等を通じて広く公開することにより、市民の文化財に対する理解を深めるとともに、文化財愛護精神の高揚を図ります。

埋蔵文化財は、文化財保護法で「土地に埋蔵されている文化財」と定義されており、文化財の種類ではなく、文化財の存在する状態を意味し、一般的に、「遺跡」と呼ばれているものです。埋蔵文化財は、歴史的文化の解明に欠かせない貴重な財産です。

市内で現在周知されている遺跡数は、



855 箇所

②城館跡

(2) 発掘調査・整理調査

96 箇所

③古墳、横穴、塚

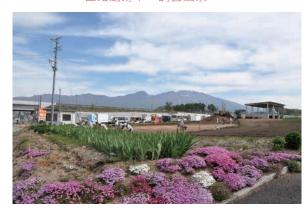
220 箇所

の合計 1,171 箇所ですが、今後山間部や水田下などから、新たに遺跡が発見される可能性があります。

平成26年度は受託事業6件、市関係6件、国庫補助による本調査1件、試掘57件、立会142件の計212件の記録保存調査を実施しました。



直路遺跡 V 調查風景



下北原遺跡 調査風景



東五里田遺跡 調査風景

No	遺跡名	調査面積	所在地	開発事業	調査概要	報告書
1	西八日町遺跡Ⅶ	130m²	岩村田	宅地造成	奈良・平安時代の集落跡	第 227 集
2	東五里田遺跡IV	180m²	野沢	宅地造成	奈良時代の集落跡	第232集
3	西大門先遺跡	270m²	岩村田	宅地造成	弥生時代の集落跡	第 233 集
4	直路遺跡V	220m²	長土呂	宅地造成	弥生時代の集落跡	第 234 集
5	下北原遺跡Ⅱ	1,100m²	長土呂	斎場進入道路整備	縄文・古墳時代の集落跡	第 228 集
6	入沪城跡	817m²	7 沪		中世の山城跡	

(3) 整理調査

No	遺跡名	所在地	開発事業	調査概要	報告書
1	上聖端遺跡Ⅲ	長土呂	高齢者複合施設建設	古墳・奈良・平安時代の集落跡	第 226 集
2	南近津遺跡Ⅲ他	長土呂	土地区画整理	弥生時代後期~中世の集落跡	
3	大豆田遺跡IV	長土呂	小学校建設事業	弥生時代後期から中世の集落跡	第 229 集
4	野馬窪遺跡VI	猿久保	武道館・多目的運動場建設	古墳・平安・中世の集落跡	第 230 集
5	野馬窪遺跡VI	猿久保	研修センター移転改築	古墳・平安・中世の集落跡	第230集
6	野馬窪遺跡VI	猿久保	市道改良	古墳・平安・中世の集落跡	第 230 集
7	西一里塚遺跡	岩村田	圃場整備及び小規模河川改良事業	弥生後期の集落跡と環濠	第 225 集
8	市内遺跡	市内		平成 25 年度の試掘・立会調査	第231集
9	年報	市内		平成 25 年度の発掘調査	年報 23

(4) 試掘調査(市内遺跡対応本調査含む)

(4)	試掘調査(市 	小退 奶刈水	ふ本調宜さむ)				/m -#	
No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	調査面積 (㎡)	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
1	野沢城跡	原	佐久市	道路建設	125	3700	試掘	H27.3.23
2	田口城跡	田口	(株)NTT ドコモ	無線基地局	4	29	試掘	H26.4.16
3	岩村田遺跡群	岩村田	ミヤモリ不動産(株)	宅地造成	140	2320	試掘	H26.4.14
4	栗毛坂遺跡群		個人	集合住宅	197	1283.41	試掘	H26.4.4
5	下県屋敷遺跡群	伴野	佐久市	学校建設	196	1200	試掘	H26.5.16 • 6.6 • 7.22
6	馬場在家遺跡群	常和	個人	個人住宅	90	690.35	試掘	H26.4.8
7	芝宮遺跡群	長土呂	株式会社ますや食品	工場	412	2944	試掘	H26.4.22 • 23
8	長土呂遺跡群	長土呂	個人	戸建賃貸住宅	40	135.16	試掘	H26.5.14
9	野馬窪遺跡群	猿久保	佐久市	道路建設	240	840	試掘	H26.11.18 ~ 21
	大塚遺跡群	中込	佐久市	道路建設	219	8000	試掘	H26.9.18 • 19、12.25
		田口	佐久市	道路建設	94	3300	試掘	H26.7.14、10.30
	明躰遺跡	田口	東山ビル管理有限会社	太陽光発電施設	108	8235	試掘	H26.5.21
	倉澤遺跡	前山	個人	個人住宅	31	259	試掘	H26.6.26
	小山崎遺跡群	下小田切	個人	個人住宅	42	669.48	試掘	H26.6.2
	スボイリ遺跡	布施	個人	個人住宅	37	610	試掘	H26.6.11
	周防畑遺跡群	長土呂	個人	集合住宅	61.4	634.15	試掘	H26.8.26
	野馬窪遺跡群	猿久保	個人	老人ホーム	119	2313.62	試掘	H26.6.2 • 3
	金山遺跡	跡部	個人	歯科医院	4	827	試掘	H26.7.1
	桟敷遺跡	安原	有限会社 新栄住宅	宅地造成	76	1503.21	試掘	H26.7.16
20		常田	佐久市	ガス・水道・電気等	8	1080.32	試掘	H26.8.4 • 28
		矢嶋・甲	長野県佐久地方事務所	農業基盤整備事業(農道等を含む)	5	78.9	試掘	H26.7.9
22		長土呂	株式会社ベネフィット	宅地造成	199	986	試掘	H26.7.3
	栗毛坂遺跡群	小田井	大井建設工業株式会社	宅地造成	105	1418	試掘	H26.7.10
24		岩村田	長野県佐久警察署長	警察署建替	14	7475.95	試掘	H26.8.30
25	- I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	瀬戸	佐久市	ガス・水道・電気等	14	210	試掘	H26.9.3 • 4 • 14
26	東五里田遺跡	野沢	田園不動産	宅地造成	322	2700	試掘	H26.9.17
	野馬窪遺跡群	猿久保	佐久市	ガス・水道・電気等	7.5	50	試掘	H26.9.5 • 14
28		甲	個人	資材置場建設	242	2490	試掘	H26.9.22
	鳴澤遺跡群	岩村田	佐久市	ガス・水道・電気等	70	2182.5	試掘	H27.1.14 • 16
	中道遺跡群	前山	株式会社高畑商会	宅地造成	108	2631	試掘	H26.10.27
	長土呂遺跡群	長土呂	個人	集合住宅	48.8	414.78	試掘	H26.9.10
	長土呂遺跡群	長土呂	個人	集合住宅	16	196	試掘	H27.1.23
	枇杷坂遺跡群	岩村田	学校法人 聖啓学園	学校建設	15	100	試掘	H26.10.20 • 21
	入沢城跡	入沢	個人	森林整備事業	11	3000	試掘	$H26.10.1 \sim 3 \cdot 10 \cdot 15$
	栗毛坂遺跡群		長野サービス株式会社	本社事務所	72	836.78	試掘	H26.12.1 • 2
	中原遺跡	甲	佐久浅間農業協同組合	介護福祉施設	76	455.87	試掘	H26.10.9
	岩村田遺跡群	岩村田	株式会社平和不動産	宅地造成	637	2998	試掘	H26.11.4 • 5
	東窪井戸遺跡	伴野	長野県佐久建設事務所	道路建設	322	2286	試掘	$H26.10.21 \sim 24$
	周防畑遺跡群	長土呂	JA 佐久浅間株式会社アメック	宅地造成	50	2418	試掘	H26.11.5
40		田口	個人	個人住宅	11	296.93	試掘	H26.10.28
41	7112271	岩村田	個人	集合住宅	20	1656.87	試掘	H26.12.24
	望月城跡・薬師平遺跡	布施	社会福祉法人望月悠玄福祉会	福祉施設	662	2987	試掘	H26.11.18 • 19
	前田遺跡群	塚原	個人	集合住宅	002	689	試掘	H27.3.5
	寺畑遺跡群	猿久保	個人	店舗	9	1339.63	試掘	H26.12.22
	枇杷坂遺跡群	長土呂	有限会社 田園不動産	宅地造成	168.4	2606.47	試掘	H26.11.21
	番屋前遺跡群	猿久保	個人	集合住宅	33	412	試掘	H26.12.22
	桟敷遺跡	安原	個人	個人住宅	16.8	438.2	試掘	H26.12.19
	岩村田遺跡群	岩村田	個人	集合住宅	126.6	1556.22	試掘	H26.12.19
	西妻神遺跡		個人	集合住宅	15	242.55	試掘	H27.2.17
10	口女門退咧	1.50	凹八	术日圧七	13	242.55	印7门川	1121.2.11



No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	調査面積 (㎡)	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
50	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅	10	152.62	試掘	H27.2.23
51	西一里塚遺跡群	岩村田	株式会社 大勝田開発	宅地造成	18	2000	試掘	H27.3.3
52	家裏遺跡	甲	個人	個人住宅	15	488.61	試掘	H27.2.27
53	今井宮の前遺跡	今井	個人	個人住宅	11	313.89	試掘	H27.3.4
54	北裏遺跡群・宝生寺山砦	伴野	佐久市	交流拠点施設	62	23800	試掘	H26.12.8 • 9
55	周防畑遺跡群	長土呂	個人	宅地造成	534	2972	試掘	H27.1.21 • 22
56	寺畑遺跡群	根々井	シチズン時計マニュファクチャリング株式会社	工場	5040		試掘	H27.3.10 ∼ 18
57	根井氏館跡	根々井	個人	個人住宅	24	369.49	試掘	H26.5.12
58	西近津遺跡群	長土呂	個人	個人住宅	100	330.93	本調査	H27.3.6 ∼ 16

(5) 立合調査

(- /	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				開発面積	保護	
No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	用光画領 (m²)	措置	調査期間
1	岩村田遺跡群	岩村田	個人	戸建賃貸住宅	466		H26.4.2 • 10
2	西妻神遺跡	中込	KDDI (株)	携带電話無線基地局	24	立会	H26.4.2
3	宮の上遺跡群	横和	個人	集合住宅	373	立会	H26.5.22
4	小山崎遺跡群	下小田切	個人	集合住宅	1090	立会	H26.4.15
5	常田居屋敷遺跡群	長土呂	個人	個人住宅	385	立会	H26.4.24
6	上砂田遺跡	岩村田	長田広告㈱長野営業所	看板	24.57	立会	H26.4.9
7	西近津遺跡群	長土呂	山屋物産㈱	宅地造成	1005	立会	H26.4.15
8	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅	178	立会	H26.5.9
9	岩村田遺跡群	岩村田	個人	集合住宅	342	立会	H26.4.18
10	山崎遺跡	田口	個人	太陽光パネル設置	829	立会	H26.4.22
11	後澤遺跡	小宮山	個人	個人住宅	273.78	立会	H26.4.8
12	周防畑遺跡群	長土呂	個人	自家用車庫	113.04	立会	H26.4.7
13	常田居屋敷遺跡群	長土呂	(有)田園不動産	個人住宅	268.02	立会	H26.5.9
14	常田居屋敷遺跡群	長土呂	(有)田園不動産	個人住宅	322.47	立会	H26.5.9
15	長土呂遺跡群	長土呂	佐久市	集合住宅	9510.95	立会	H26.5.29 ~ 6.2、9.5 ~ 8
16	城平遺跡群	平賀	個人	個人住宅	44.62	立会	H26.5.20
17	蛇塚遺跡群	安原	個人	個人住宅	180.24	立会	H26.4.25
18	岩村田遺跡群	岩村田	個人	集合住宅	756.2	立会	H26.5.21
19	観正田遺跡群	入沢	個人	個人住宅	252.63	立会	H26.5.7
20	岩村田遺跡群	岩村田	KDDI (株)	携帯電話無線基地局	4	立会	H26.5.24
21	岩村田遺跡群	岩村田	(株)不二家	店舗	890	立会	H26.7.23
22	十二前遺跡	上平尾	個人	個人住宅	980	立会	H26.5.22
23	西近津遺跡群	長土呂	個人	個人住宅	287.23	立会	H26.5.19
24	仁束餅遺跡	伴野	個人	個人住宅	500	立会	H26.9.25
25	中金井遺跡群	横根	エス・エス・ティ・エナジー(株)	太陽光発電施設	3210	立会	H26.7.2、8.20
26	新小路遺跡	春日	佐久市	道路建設	1258	立会	H 26.8.29、9.12、10.7
27	猿久保屋敷添遺跡・番屋前遺跡群	猿久保	佐久市	道路建設	1260	立会	H 26.10.27 ∼ 31
28	湯原城跡	湯原	佐久市	道路建設	530	立会	H27.1.6
29	野馬窪遺跡群	猿久保	佐久市	道路建設	880	立会	H26.10.20、12.15 ∼ 18
30	白拍子遺跡群	取出	個人	個人住宅	307.68	立会	H26.6.24
31	稲荷山城跡	勝間	稲荷山殉国慰霊碑改修委員会	慰霊碑	49	立会	H26.7.22、8•12
32	吉永遺跡	望月	個人	個人住宅	515.38	立会	H26.7.10
33	西近津遺跡群	長土呂	山屋物産㈱	宅地造成	1007	立会	H26.5.15 • 20
34	屋敷裏遺跡群	塩名田	個人	個人住宅	337.31	立会	H26.6.12
35	猿久保屋敷添遺跡	猿久保	個人	個人住宅	410.2	立会	H26.8.4

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
36	常田居屋敷遺跡群	常田	個人	個人住宅			H26.6.19
37	小山崎遺跡群	下小田切	個人	個人住宅	316.73	立会	H26.7.2
38	枇杷坂遺跡群	岩村田	個人	個人住宅	582.6	立会	H26.7.9
39	蛇塚遺跡群	猿久保	個人	個人住宅	297.57	立会	H26.6.28
40	上平遺跡	御馬寄	個人	個人住宅	211.76	立会	H26.7.8
41	枇杷坂遺跡群	岩村田	佐久市	ガス・水道・電気等	48	立会	H26.6.3 ∼ 6.9
42	枇杷坂遺跡群	長土呂	佐久市	集合住宅	2760.36	立会	H 26.9.24、10.9・27
43	筒畑遺跡群	安原	個人	個人住宅	300	立会	H26.8.4
44	五里久保遺跡	湯原	KDDI (株)	携帯電話無線基地局	4	立会	H26.7.1
45	周防畑遺跡群	長土呂	個人	個人住宅	342.02	立会	H26.7.29
46	周防畑遺跡群	長土呂	個人	個人住宅	296.24	立会	H26.6.30
47	中金井遺跡群	小田井	北都ハウス工業(株)	分譲住宅	261.05	立会	H26.6.28
48	常田居屋敷遺跡群	長土呂	㈱田園不動産	個人住宅	294.49	立会	H26.10.1
49	越上り遺跡	中込	㈱シーブイエス佐久	店舗	830.87	立会	H26.7.9
50	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅	321.69	立会	H26.7.18
51	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅	368.7	立会	H26.7.31
52	平賀中屋敷遺跡群	平賀	個人	個人住宅	331	立会	H26.7.31、8.4
53	西赤座遺跡	岩村田北一丁目	個人	個人住宅兼工場又は店舗	274.07	立会	H26.9.29
54	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅	440.94	立会	H26.8.25
55	下県屋敷遺跡群	伴野	個人	個人住宅	301.6	立会	H26.8.20
56	周防畑遺跡群	長土呂	個人	個人住宅	239.89	立会	H26.8.26
	周防畑遺跡群	長土呂	個人	個人住宅			H26.9.2
58	今井宮の前遺跡	今井	個人	個人住宅	292.16	立会	H26.8.26
	白拍子遺跡群	取出町	個人	個人住宅	289.36	立会	H26.8.18
60	平賀中屋敷遺跡群	平賀	個人	個人住宅	186.06	立会	H26.9.18
	苦水日向遺跡	内山	個人	個人住宅	786.13	立会	H26.9.11
	西近津遺跡群	常田	個人	個人住宅	323.92	立会	H26.11.25
63	前田遺跡群	小田井	佐久市	ガス・水道・電気等	428.9	立会	H 26.11.17 ~H 27.2.10
		中込	個人	個人住宅	677.53	立会	H26.10.24
	下信濃石遺跡	岩村田	個人	個人住宅	200.46	立会	H26.9.22
	瀧遺跡	平賀	個人	個人住宅			H26.9.12
		小田井	アエラホーム(株)	個人住宅			H26.9.29
	金塚第 1 号古墳	春日	佐久市	標柱移設			H 26.8.29 • 10.27
	北上遺跡	協和	佐久市	農業基盤整備事業			H 27.1.23 • 2.27
	長土呂遺跡群	長土呂	佐久市	道路建設			H26.9.16 • 19
71	大塚遺跡群	中込	個人	個人住宅	256.38	立会	H26.11.7
	周防畑遺跡群	長土呂	佐久市	道路建設			H 26.12.24、H 27.2.6 • 16
	枇杷坂遺跡群	長土呂	個人	個人住宅			H26.10.8
	周防畑遺跡群	長土呂	大和ハウス工業(株)	建売住宅			H26.10.14
	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅			H 26.9.25 • 30
	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅			H26.10.8
	樋村遺跡	平賀	個人	個人住宅			H26.12.2
	岩村田遺跡群	岩村田	個人	戸建賃貸住宅			H26.10.16
	地家遺跡	大沢	長野国道事務所	道路建設			H26.10.7
	地家遺跡	大沢	佐久市	排水路			H 26.10.15 • 16
	家浦遺跡	下小田切	個人	個人住宅			H26.11.1
	桟敷遺跡	安原	佐久市	防球ネット			H27.3.2
	大奈良遺跡	田口	個人	個人住宅			H 26.11.10 • 11
	長土呂遺跡群	長土呂	軽井沢ブルワリー(株)	倉庫			H 26.11.25、12.5
	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅			H 26.10.21 ~ 23
	山门山远奶饼	71.11.TH	IEI/		000.00		11 20.10.21



No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
86	長土呂遺跡群	長土呂	佐久市	道路建設	580		H27.2.18
87	長土呂遺跡群	長土呂	佐久市	道路建設	150	立会	H27.3.9
88	周防畑遺跡群	長土呂	北都ハウス工業㈱	分譲住宅	224.59	立会	H26.11.1
89	砂原遺跡	塩名田	(有)新栄開発	分譲住宅	249.11	立会	H26.10.30
90	深堀遺跡群	瀬戸	個人	個人住宅	269.76	立会	H26.11.5
91	周防畑遺跡群	長土呂	個人	個人住宅	241.34	立会	H26.11.17
	中金井遺跡群	小田井	個人	個人住宅	219.85		H26.12.8
	長土呂遺跡群	長土呂	個人	個人住宅	177.71		H26.11.17
	城下遺跡	白田	個人	太陽光発電施設	1365		H27.1.29
	栗毛坂遺跡群	小田井	(有)オークラ住宅	建売住宅	421.06		H 26.11.17、12.2
	岩村田遺跡群	岩村田	とりやたまや	店舗	72	立会	
	善郷寺遺跡	春日	個人	個人住宅			H26.11.26
	周防畑遺跡群	長土呂	佐久市	道路建設	380		H27.1.20
	西大久保遺跡群	上平尾	個人	個人住宅	333		H26.11.25 • 12.8
	蛇塚遺跡群	新子田	個人	個人住宅	436.97		H26.11.28
	近津遺跡群	長土呂	個人	個人住宅	308		H26.12.1
	勝間原遺跡	下小田切		公営住宅解体	518.9		H27.2.9
		伴野	佐久市	道路建設			
	西東山遺跡		個人		105		H 26.11.28 • 12.24 H26.11.27
	善郷寺遺跡	春日		個人住宅	544.18		
	深堀遺跡群			建売住宅	728		H26.12.22
	鳴澤遺跡群·西一里塚遺跡群		佐久建設事務所	道路建設	1018		H26.11.11
	塚原屋敷添遺跡	平塚	個人	個人住宅			H26.12.15
	周防畑遺跡群	長土呂	個人	個人住宅	228.23		H26.12.18
	倉澤遺跡	前山	佐久市	排水路	27		H26.11.26 • 12.8
	周防畑遺跡群		(株)土屋ホーム	分譲住宅	209.09		H27.2.19
111	荒谷遺跡	臼田	佐久市	排水路改修	1260		H 27.1.8 ∼ 22
112	寺久保遺跡・下ノ城遺跡・医王寺城跡	臼田	佐久市	道路建設	530		H27.2.19
	乙ケ平遺跡		堀川産業(株)	太陽光発電施設	18321		H 27.1.9 ∼ 28
	白拍子遺跡群	取出町	佐久平土地改良区	農業基盤整備事業	280		H27.2.13
115	西裏遺跡群	本新町	佐久平土地改良区	農業基盤整備事業	39	立会	H27.3.2
116	中道遺跡群	前山	佐久平土地改良区	農業基盤整備事業	505	立会	Н 27.1.15、2.12
117	原遺跡	大沢	佐久平土地改良区	農業基盤整備事業	41	立会	H27.1.16
118	東内池遺跡	新子田	個人	個人住宅	275.88	立会	H27.1.6
119	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅	234.63	立会	H 27.1.7 • 14
120	東千石平遺跡群	瀬戸	佐久市	道路建設	30	立会	H27.1.28
121	権現山遺跡群	甲	(株)中澤	建売住宅)	332.92	立会	H27.1.9
122	前田遺跡群	小田井	個人	個人住宅	215.09	立会	H 27.3.17 • 18
123	御嶽遺跡	前山	佐久平土地改良区	農業基盤整備事業	293	立会	H27.2.13
124	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅	259.89	立会	H27.1.27 • 2.2
125	岩村田遺跡群	岩村田	個人	集合住宅	246.2	立会	H 27.1.13 • 23
126	野沢城跡	原	(有) フジヨシエステート	宅地造成	821	立会	H27.2.4
127	稲荷山城跡	臼田	佐久市	公園駐車場改修	185	立会	H27.3.9
128	東千石平遺跡群	瀬戸	個人	車庫	543.77	立会	H27.3.4
129	藪影遺跡	春日	個人	個人住宅	578.81	立会	H27.3.5
130	後澤遺跡	小宮山	個人	個人住宅	266.22	立会	H27.2.23
131	仁束餅遺跡	伴野	個人	個人住宅	351	立会	H27.2.23
132	根々井居屋敷遺跡	根々井	個人	個人住宅	442	立会	H27.3.5
133	平賀中屋敷遺跡群	平賀	個人	個人住宅	516.77		H27.3.11
	中金井遺跡群	小田井	個人	戸建賃貸住宅			H27.3.13
	岩村田遺跡群		個人	個人住宅			H27.3.13

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
136	蛇塚遺跡群	猿久保	個人	個人住宅	610.29	立会	H27.3.18
137	今井宮の前遺跡	今井	佐久市土地改良区	農業基盤整備事業	35.2	立会	H27.3.6
138	宮の上遺跡群	横和	個人	太陽光発電施設	624	立会	H27.3.17
139	蛇塚遺跡群	新子田	佐久市	道路建設	1100	立会	H 27.3.23 ∼ 3.31
140	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅	585	立会	H27.3.25
141	中金井遺跡群	小田井	個人	個人住宅	219	立会	H27.3.30
142	常田居屋敷遺跡群	塚原	個人	個人住宅	505.05	立会	H27.3.31

(6) 出土遺物保存処理·自然科学分析

- ●国補埋蔵文化財出土遺物保存処理 西一本柳遺跡XⅧ出土鉄瓶 1点 中堰遺跡出土鉄器 5点 春日居館跡出土金属器 22点
- ●大豆田遺跡IV出土遺物自然科学分析 動物遺体同定 101点 土器残存圧痕のレプリカ法調査 1点

(7) 刊行図書

第 225 集「西一里塚遺跡 I」

第 226 集「上聖端遺跡Ⅲ」

第227集「西八日町遺跡Ⅶ」

第228集「下北原遺跡Ⅱ」

第 229 集「大豆田遺跡IV」

第 230 週「野馬窪遺跡VI」

第231集「市内遺跡発掘調査報告書2013」

第 232 集「東五里田遺跡IV」

第233集「西大門先遺跡」

第234集「直路遺跡V」

佐久市文化財「年報 23」

佐久市文化財情報 平成 25 年度



2 普及•公開

(1) 第 35 回少年考古学教室

開催場所 望月地区

開催日 平成26年8月7日(木)・8日(金)

参加者市内小学生・高校生 31名

内 容 望月地区の文化財・望月歴史民俗資料 館の見学





●平成 26 年度 講座一覧表

期日	主催者	内容	参加者
平成26年4月6日(日)	中宿区・中宿区公民館	志賀城についての学習	30名
平成 26 年 4 月 10 日(木)	東小学校6年1組	佐久の歴史について	33名
平成 26 年 4 月 11 日(金)	東小学校6年2組	佐久の歴史について	33名
平成26年5月2日(金)	東小学校3年2組	佐久の歴史について	30 名
平成26年5月3日(土)	中宿区・中宿区公民館	志賀城の構造、仕組みについて	24 名
平成26年5月7日(水)	東小学校3年1組	佐久の歴史について	30 名
平成 26 年 5 月 16 日(金)	高瀬小学校6年	佐久の歴史について 土器接合体験	36 名
平成 26 年 5 月 22 日(木)	文化振興課	原始・古代における死生観 遺跡調査から見えるもの	50 名
平成 26 年 9 月 20 日(土)	伊勢林郷土史研究会	伊勢林区内の遺跡について	15 名
平成 26 年 9 月 26 日(金)	小諸市公民館	古代の佐久地方	87名
平成26年10月21日(火)	志賀下宿区	志賀の歴史について他	35 名
平成26年11月24日(月)	文化財課	講演3本 展示	102名
平成26年11月25日(火)	南牧北小学校6年	佐久の歴史について	13名
平成 26 年 12 月 9 日(火)	佐久市高齢者大学・佐久市公民館	佐久の文化財	17名
平成 27 年 1 月 17 日(土)	望月歴史民俗資料館	中世の佐久地方について	28 名
平成 27 年 1 月 18 日(火)	佐久民主商工会	佐久市内の発掘調査について	65 名
平成 27 年 1 月 22 日(木)	志賀中宿区公民館	展示室見学、庁舎案内	9名
平成 27 年 1 月 30 日(金)	考古学サークル	佐久の中世について	20名

(2) 講座

上記に掲載した一覧表のように 18 回の講座を行い、郷土の歴史文化の普及に努めました。



新佐久市誕生 10 周年記念事業 市民公開講座の様子

(3) 出土遺物展示施設利用状況

●文化財課展示室

市内の遺跡から出土した、旧石器時代から近世までの出土品約200点を常設展示しています。

平成26年度は展示のリニューアルを行いました。

平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで無料で公開。平成 26 年度の見学者は 265 名でした。



文化財課展示室 (旧石器時代)



文化財課展示室 (縄文土器)

●野沢会館ホール

市内の遺跡から出土した、出土品、臼田トンネル



文化財課展示室(北西ノ久保遺跡の埴輪)

産の古型マンモス化石レプリカ、朱鷺剥製などを展示。

平成26年度は3回の展示替えを行いました。



野沢会館 平成26年7月



野沢会館 平成 26 年 12 月



野沢会館 平成27年2月

●望月歴史民俗資料館

望月歴史民俗資料館からの依頼により、2回の企 画展を行いました。



古代における死生観(平成26年7月29日~)



H25 市内遺跡発掘調査における出土遺物及び 発掘調査の方法と発掘機材(平成27年3月6日~)

●臼田文化センター

旧臼田町時代から展示されていた、金属製遺物の 保護のため、2階部分の展示替えを行いました。臼 田地区の遺跡出土品を中心に、市指定有形文化財の 北西ノ久保遺跡出土埴輪を含む旧石器時代から中世 までの出土品を展示しています。



臼田文化センター 平成 26 年 11 月



臼田文化センター 北西ノ久保遺跡出土埴輪



●佐久平浅間小学校

子供たちの歴史教材として、佐久平浅間小学校建設工事に伴い発掘調査が行われた、大豆田遺跡IV出土品から代表的な遺物を展示しています。



佐久平浅間小学校見学会の様子(平成27年3月8日)





(4) 貸出・撮影・掲載

市内遺跡出土の埋蔵文化財、写真・フィルム・図 面の貸出・撮影・掲載は15件ありました。



東一本柳古墳出土馬具



五里田遺跡出土鉄剣



臼田トンネル産古型マンモス化石

●平成 26 年度 埋蔵文化財 貸出・撮影・掲載一覧表

資料名	申請者	目 的	期間
五里田遺跡、根々井芝宮遺跡、西一本柳遺跡 I・Ⅲ~Ⅵ・Ⅷ出土土器の種子圧痕	個人	弥生時代の生業の種類を解明するための調査・研究	平成 26 年 6 月 2・3 日
H25 年度文化財関係国庫補助事業埋蔵 文化財出土遺物保存処理品の完了写真	株式会社 イビソク	社外向けパンフレットに掲載	平成 26 年 5 月 14 日許可
野馬窪遺跡VIの調査に関する写真- 1 枚	長野県埋蔵文化財センター	長野県の埋蔵文化財情報誌「信州の遺跡」第 5 号に掲載	平成 26 年 7 月 9 日許可
臼田トンネル産マンモス化石 左上顎 第3大臼歯レプリカ	長野市立博物館	戸隠地質化石博物館 企画展「長野のゾウ」 に展示するため	平成 26 年 7 月 17 日~ 9 月 17 日
榛名平古墳 1 号墳出土鉄鏃実測図 - 10 点幸神 1 号墳出土鉄鏃実測図 - 3 点 五庵古墳出土鉄鏃実測図 - 1 点 五霊西 12 号墳出土鉄鏃実測図 - 5 点 蛇塚古墳出土鉄鏃実測図 - 9 点	個人	論文に掲載	平成 26 年 8 月 20 日許可
五里田遺跡出土鉄剣他一 75 点	浅間縄文ミュージアム館長	企画展での展示、印刷物、ホームページへの 掲載、展示物の写真撮影	平成 26 年 9 月 18 日~ 12 月 18 日
北一本柳遺跡 H33 号住居址他 6 枚の 考古資料写真	佐久考古学会	佐久考古学会発行の佐久考古通信 113 号への掲載	平成 26 年 9 月 8 日許可
後沖遺跡出土縄文土器-5点	長野県立歴史館	企画展での展示、ポスター・図録への写真掲載	平成 26 年 9 月 25 日~ 平成 27 年 2 月 27 日
北一本柳遺跡出土玉緑青磁碗他の写真 -3枚	個人	句集への掲載	平成 26 年 11 月 5 日許可
後沖遺跡出土縄文土器-5点	信毎書籍印刷株式会社	書籍「デコボコかざりののはじまり〜縄文時 代中期立体装飾への道〜」に掲載	平成 26 年 11 月 4 日許可
大豆田遺跡出土蓋型土器資料 1 点に対するレプリカ法調査で同定された種子 圧痕の顕微鏡写真と土器の写真	個人	学会での研究報告のため	平成26年11月6日掲載
東一本柳古墳出土杏葉の写真-1枚	長野県埋蔵文化財センター	かがみちゃんと学ぼう ジュニア考古学第3号、 長野県埋蔵文化財センターホームページへの掲載	平成 26 年 12 月 24 日許可
臼田トンネル産マンモス化石 左上顎 第3大臼歯	野尻湖ナウマンゾウ博物館	日本産古型マンモスの形態的特徴を明らかにする ため、化石資料を CT スキャン撮影するため	平成 27 年 2 月 4 日~6日
考古資料写真-20点	南相木村教育委員会	南相木村誌への掲載	決裁の日~平成 27 年 2 月 28 日
東一本柳古墳出土馬具-11点	千曲市森将軍塚古墳館	企画展「科野の馬と馬具」に展示	平成 27 年 3 月 26 日~ 5 月 15 日





書籍「デコボコかざりののはじまり〜縄文時代中期立体装飾への道〜」(⑥信毎書籍印刷㈱)・南相木村誌(⑥南相木村)に掲載された佐久市資料



3 調査概要

1. 西八日町遺跡Ⅶ

所 在 地 佐久市岩村田 2149 - 1、2150 - 1

開発主体者 ミヤモリ不動産株式会社

開発事業名 宅地造成工事

調査期間 平成 26 年 4 月 21 日~ 5 月 2 日

調查面積 130㎡ 調查担当者 上原学

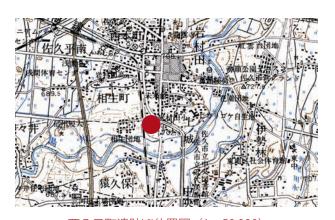
●経過と立地

岩村田遺跡群は佐久市岩村田に所在し、佐久地域特有の浅間山の麓から放射状に延びる浸食谷に挟まれた南北方向に細長い台地上(田切地形)に展開する弥生時代から中世に至る複合遺跡である。周辺は以前から遺跡の密集する遺跡として周知されており、道路改良、区画整理事業、店舗建設等に伴う多くの発掘調査が実施されている。開発地域近隣では、南方の宅地造成工事に伴う西八日町遺跡及び共同住宅建設に伴う試掘調査によって弥生時代から平安時代の竪穴住居址50軒以上が、北方の道路改良及び区画整理事業に伴う西八日町遺跡Ⅲ・Ⅳ・V・Ⅵ・Ⅶの調査では弥生時代から平安時代の竪穴住居址100軒以上が調査されている。

今回、ミヤモリ不動産株式会社が計画した宅地造成工事予定地域一帯が岩村田遺跡群に含まれることから進入道路部分の試掘・確認調査を実施する運びとなった。平成26年4月に試掘・確認調査を実施した結果、竪穴住居址・土坑等の遺構が発見されたため、文化財保護協議を実施し、埋蔵文化財委託契約締結後、佐久市教育委員会が主体となり、進入道路部分の発掘調査を行った。なお、宅地面は盛土による工事であることから、今回の開発では調査対象外とした。

●調査の概要

遺構 竪穴住居址-8軒(奈良・平安時代) 土坑-3基(奈良・平安時代他) 溝上遺構-2条(中世以降) 掘立柱建物址-1棟(奈良・平安時代) ピット-3基



西八日町遺跡VII位置図(1:50,000) 遺物 土師器(坏・椀・甕) 須恵器(坏・蓋・甕・壺) 石器・石製品(砥石・磨石) 鉄製品(刀子)



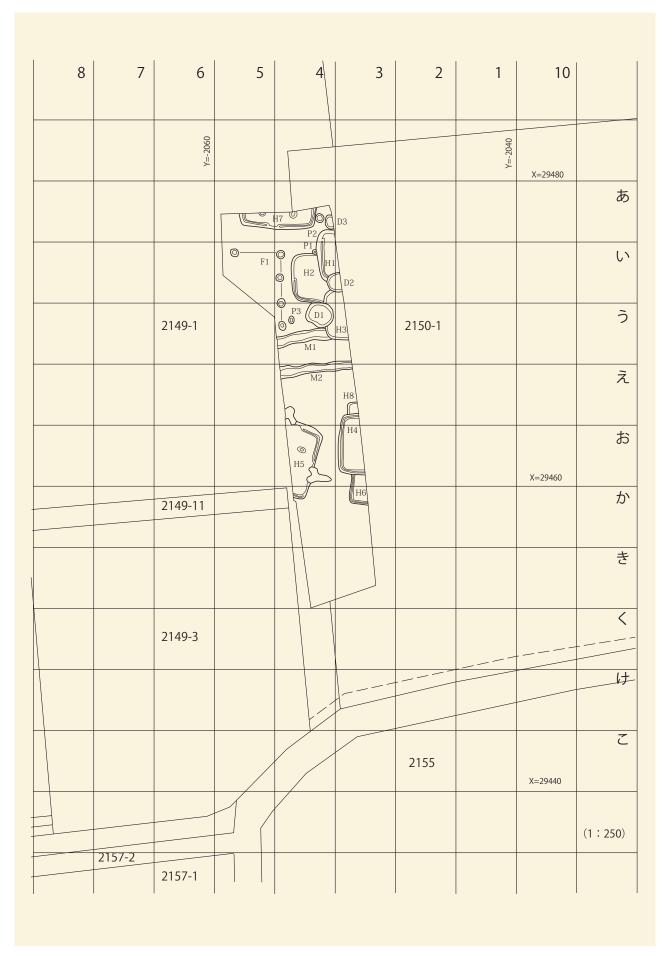
調査区全景



H 5 号住居址



遺物出土状況



西八日町遺跡VII全体図



2. 東五里田遺跡Ⅳ

所 在 地 佐久市野沢 392-1 開発主体者 有限会社 田園不動産

開発事業名 宅地造成工事

平成 26 年 9 月 22 日~ 9 月 29 日 調査期間

調査面積 180m² 調查担当者 上原学



東五里田遺跡Ⅳ位置図(1:50,000)

●経過と立地

東五里田遺跡は佐久市野沢に所在し、佐久市内を 貫流する千曲川の左岸に形成された沖積微高地上に 展開する弥生時代から中世に至る複合遺跡で、標高 は675.5m 内外を測る。周辺では中学校建て替え、 宅地造成、道路改良等の事業に伴い多くの発掘調査 が実施されている。開発地域近隣では、北側で学校 建て替えに伴う東五里田遺跡Ⅰ・Ⅱ及び宅地造成工 事に伴う東五里田遺跡Ⅲの調査が行われ、東五里田 遺跡Iからは弥生時代前期及び奈良時代の住居址等 が、東五里田遺跡Ⅱ・Ⅲからは奈良時代の住居址等 が調査されている。

今回、有限会社田園不動産が計画した宅地造成工 あることから、今回の開発では調査対象外とした。



遺跡全景

事予定地域一帯が東五里田遺跡に含まれることから 進入道路部の試掘・確認調査を実施する運びとなっ た。平成26年9月に試掘・確認調査を実施した結果、 竪穴住居址・土坑等の遺構が発見されたため、文化 財保護協議を実施し、埋蔵文化財委託契約締結後、 佐久市教育委員会が主体となり、進入道路部分の発 掘調査を行った。なお、宅地面は盛土による工事で



H 1 号住居址

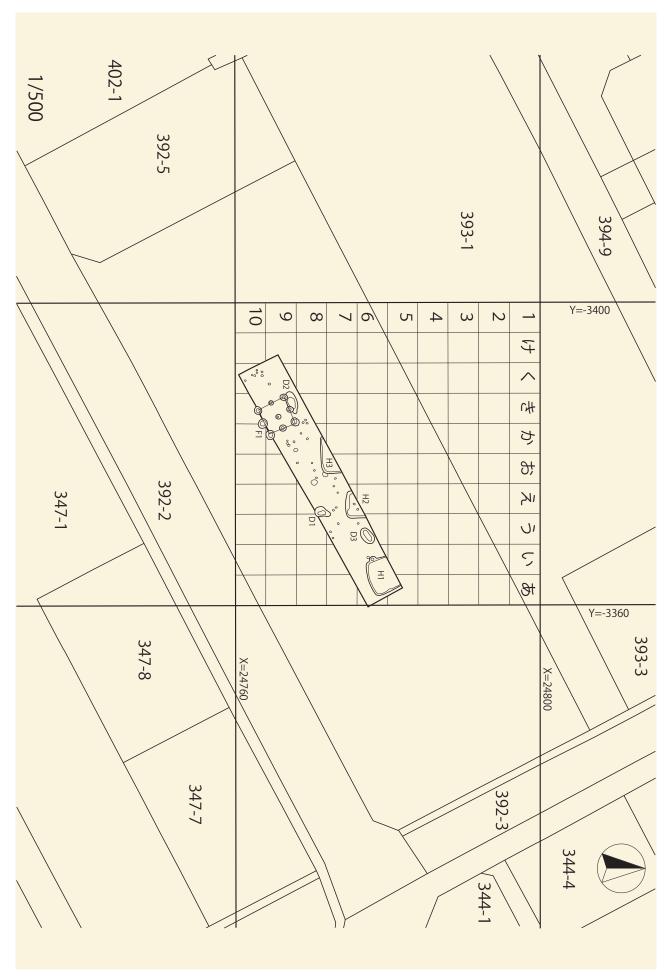
●調査の概要

遺構 竪穴住居址-3軒(奈良時代) 土坑一3基 掘立柱建物址-1棟(奈良時代) ピットー36基

遺物 土師器 (坏・甕) 須恵器 (坏・甕) 石器 (磨石)



F 1号掘立柱建物址



東五里田遺跡IV全体図



3. 西大門先遺跡

所 在 地 佐久市岩村田字西大門先 2049 - 1、2050 - 1

開発主体者 株式会社 平和不動産

開発事業名 宅地造成工事

調査期間 平成 26 年 11 月 11 日~ 12 月 1 日

調查面積 270㎡ 調查担当者 上原学



岩村田遺跡群は佐久市岩村田に所在し、佐久地域 特有の浅間山の麓から放射状に延びる浸食谷に挟ま れた南北方向に細長い台地上(田切り地形)に展開 する弥生時代から中世に至る複合遺跡である。周辺 は、以前から遺跡の密集する地域として周知されて おり、道路改良、区画整理事業、店舗建設等に伴う 多くの発掘調査が実施されている。

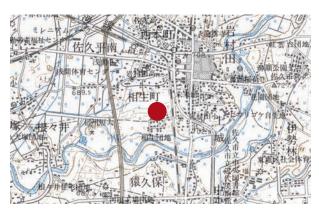
今回、株式会社平和不動産が計画した宅地造成工事予定地域一帯が岩村田遺跡群に含まれることから遺跡の破壊が予測される地域及び道路部分の試掘・確認調査を実施する運びとなった。平成26年11月に調査を実施した結果、竪穴住居址・溝状遺構・土坑等の遺構が発見されたため、文化財保護協議を実施し、埋蔵文化財委託契約締結後、佐久市教育委員会が主体となり、遺跡が発見された進入道路・浸透枡・擁護壁部分の発掘調査を行った。なお、宅地面は盛土による工事であることから、今回の開発では調査対象外とした。

●調査の概要

遺構 竪穴住居址-5軒(弥生時代4軒、不明1軒) 溝状遺構-5条(弥生時代3条、中世1条、 不明1条)

> 土坑-2基(弥生時代) ピット-5基

遺物 弥生土器 (壺・甕・鉢・高坏) 石器・石製品 (環状石斧・すり石・敲石) 土製品 (土製円盤・匙片)



西大門先遺跡位置図(1:50,000)



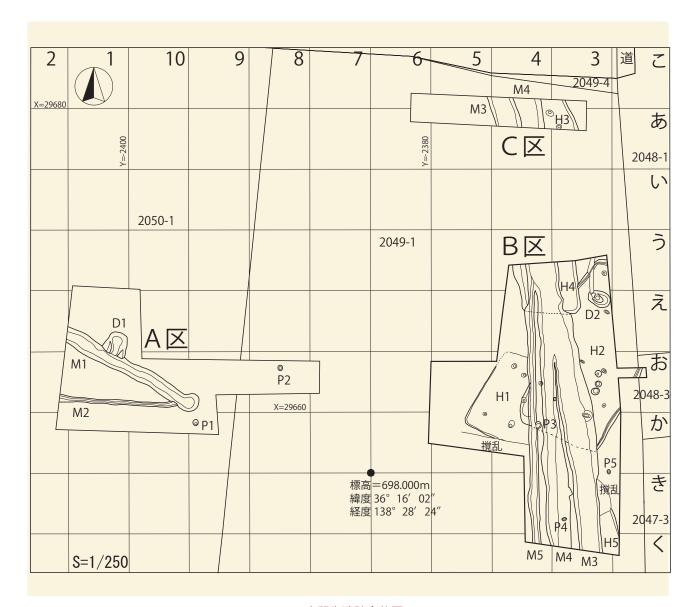
調査区全景



H 1号住居址



遺物出土状況



西大門先遺跡全体図

4. 直路遺跡 V

所 在 地 佐久市長土呂字直路 301 - 1 他

開発主体者 有限会社 田園不動産

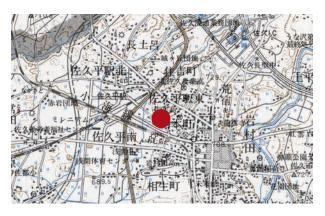
開発事業名 宅地造成工事

調査期間 平成 26 年 12 月 1 日~ 12 月 10 日

調査面積 220㎡ 調査担当者 富沢一明

●経過と立地

直路遺跡 V は、佐久市の長土呂地籍に所在し、枇杷坂遺跡群の中ほどに位置する。遺跡は佐久平北部にみられる「田切り地形」の台地上に立地し、台地周辺の海抜は 710 m前後を測る。



直路遺跡 V 位置図 (1:50,000)

本遺跡の周辺では、数多くの遺跡が調査されている。東200mには上直路遺跡が調査されている。弥生時代後期の住居址2軒が調査され、うち1軒からは住居址内埋葬という形で土壙墓が検出された。土壙内からは欠損もあり正確な点数は不明であ





H 4 号住居址

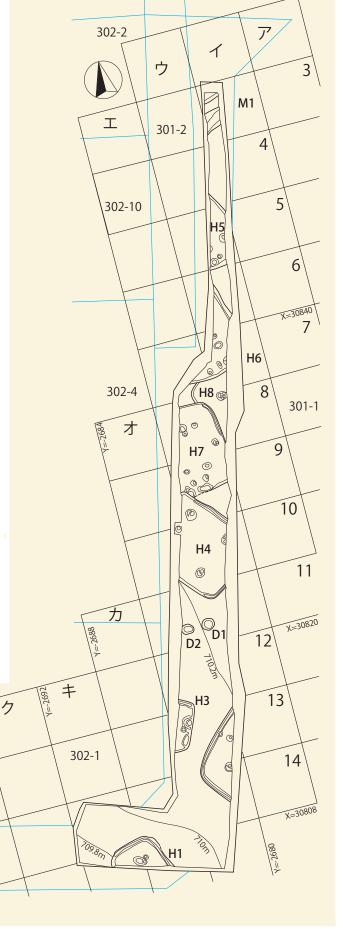
るが、右腕に5本、左腕に10本の銅釧を装着した人骨が出土し、尚且つ、住居は消失した状態であった。これら特異な埋葬形態とともに多量の銅釧の出土は非常に注目される遺跡となっている。この他の遺跡としては銅鏃が出土した下伯母塚遺跡、ト骨や円形周溝墓と方形周溝墓が混在して発見された円正坊遺跡等がある。また、直路遺跡 I・II・III・IVの各遺跡でも弥生時代後期の住居址が調査され、特に直路遺跡 Iにおいては弥生時代中期から後期への過渡的な様相を示す土器群が一括出土している。この土器で選過程を示すと考えられている。このように、当遺跡周辺では弥生時代後期の住居址が発見されており、幅400mの台地上には当該期の集落址が大規模に展開していることが推定されている。

今回、遺跡群内で、有限会社田園不動産により宅 地造成の計画がなされ佐久市教育委員会に文化財保 護法 93 条の届出がなされた。当教育委員会では対 象地の試掘調査を行い遺構が発見された為、保護協

サ

シ

ス



直路遺跡V全体図

ケ

S=1/250

 \Box

議を行い、道路部分の発掘調査を行うこととなった。 なお、宅地面は盛土による工事であることから、今 回の開発では調査対象外となった。

●調査の概要

遺構 竪穴住居址-8軒(弥生後期) 土坑-2基

溝状遺構-1条

遺物 弥生土器 (壺・甕・高坏・鉢) 土製品 (紡錘車・土製円板) 石器・石製品 (磨石・凹石・石鏃)

5. 下北原遺跡 ||

所 在 地 佐久市長土呂 862 - 6、863 - 1

開発主体者 佐久市

開発事業名 斎場進入道路整備

調査期間 平成 26 年 4 月 30 日~ 5 月 30 日

調査面積 1,100㎡ 調査担当者 上原学

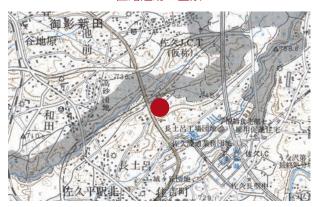
●経過と立地

周防畑遺跡群は佐久市長土呂に所在し、佐久地域 特有の浅間山の麓から放射状に延びる浸食谷に挟ま れた南北方向に細長い台地上(田切り地形)に展開 する、弥生時代から中世に至る複合遺跡である。特 に遺跡群南の佐久平駅北側周辺地域は、遺跡の密集 する地域として周知されており、道路改良、区画整 理事業、店舗建設等に伴う多くの発掘調査が実施さ れている。調査対象地は、遺跡群北方の、南に向かっ て緩やかな傾斜を示す台地北西端部に位置し、標高 は737.5 m内外を測る。開発地域近隣における代 表的な調査としては、北方の田切り対岸において中 部横断自動車道建設に伴い長野県埋蔵文化財センタ 一が実施した鎌田原遺跡の調査があり、古墳時代前 期及び平安時代末の住居址等が発見されているが、 遺跡群南方の遺跡密集地に比べると希薄な地域であ る。

今回、佐久市環境部新クリーンセンター・斎場整備推進室による斎場建設、進入道路築造及び代替地の造成事業に伴い、開発地域一帯が周防畑遺跡群に含まれることから事業課と文化財保護協議を重ね、試掘・確認調査を実施する運びとなった。



直路遺跡V全景



下北原遺跡Ⅱ位置図 (1:50,000)

平成24年12月には斎場建設予定地、平成26年3月には進入道路部分及び代替地の試掘・確認調査を実施し、後者から竪穴住居址・土坑等の遺構が発見された。そのため再度文化財保護協議を行い、遺構の発見された進入道路及び代替地部分の発掘調査を佐久市教育委員会が主体となり実施した。

●調査の概要

遺構 竪穴住居址-1軒(古墳時代前期) 土坑-8基(縄文時代後期他) ピット-146基

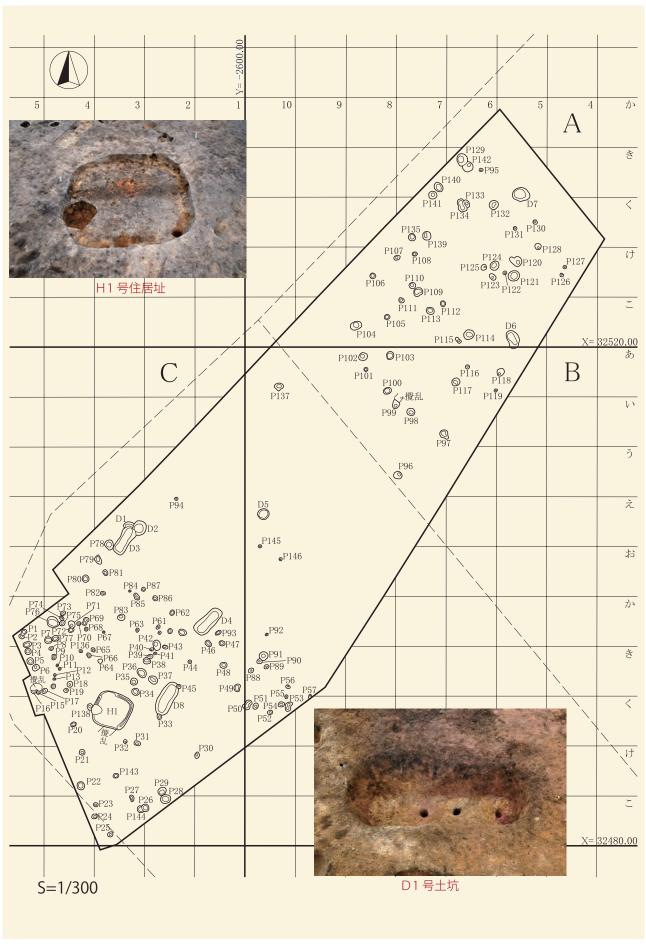
遺物 縄文土器(深鉢) 土師器(鉢・高坏?)

石器 (石鏃)



調查区全景





下北原遺跡 || 全体図

6. 入沢城跡

所 在 地 佐久市入沢 3069 他

開発主体者 笹崎材木店 開発事業名 森林整備事業

調査期間 平成 26 年 10 月 15 日~平成 27 年 2 月 3 日

調査面積 817㎡

調查担当者 久保浩一郎

宿石 宿台 (宿台) 中本林 (1080)

入沢城跡位置図(1:50,000)

●経過と立地

入沢城跡は、佐久市南端部の入沢地籍に所在し、 佐久市東側の佐久山地末端部の丘陵上に位置する。 山頂部の主郭部分で標高 852m を測る。東側以外 の三方は岩盤が露出する急峻な斜面であり、自然の 要害を利用した山城である。

入沢城跡では、堀切や土塁など当時の遺構が比較的良好に遺存しており、北西側斜面に4本の堀と土塁が、北東斜面に1本の堀が認められ、北西側から南西側にかけていくつかの段郭が認められる。

今回、入沢城跡内で森林整備事業が行われること となり、作業用道路により破壊される堀・土塁につ いて記録保存を目的とした発掘調査を実施した。

●調査の概要

遺構 堀・土塁-4箇所

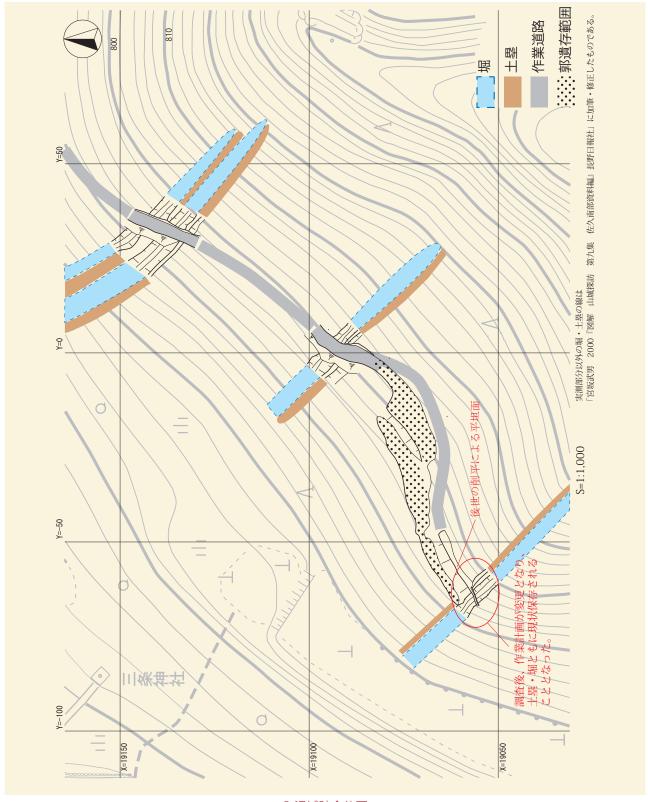


北側堀·土塁



段郭の現状





入沢城跡全体図







堀と土塁の断面(北側・南側・中央)

4 調査報告

1.鳴沢遺跡群 古仁田遺跡

所 在 地 佐久市根々井 1074 - 3 他

開発主体者 長野県佐久建設事務所

開発事業名 県単道路改良事業

(工事立ち合い期間も含む)

調査期間 平成25年11月8日~平成26年1月9日

調査面積 20㎡ 調査担当者 冨沢一明

●例言・凡例

- 1. 本書は長野県佐久建設事務所が行う道路改良事業 に伴う鳴澤遺跡群古仁田遺跡 (こにた)の発掘調 査報告書である。
- 2. 本報告書の作成は冨沢が行った。
- 3. 本書及び当遺跡の出土品のすべての資料は佐久市 教育委員会の責任下に保管されている。
- 4. 遺構の海抜標高は各遺構ごとに統一し、水糸標高をスケール上に「標高」として記してある。
- 5. 土層の色調は 1988 年版「新版 標準土色帖」に 基づいた。
- 6. 調査区グリッドは公共座標 (世界測地系)を使用している。
- 7. 遺跡の略記号は NKO(鳴瀬・古仁田) である。

●経過と立地

古仁田遺跡が所在する鳴澤遺跡群は佐久市の中央部に位置し、湯川の河岸段丘上に立地する。遺跡群は段丘縁に南北にのびる遺跡群で、弥生から平安時代の複合遺跡として捉えられている。遺跡群内では平成9年に1400㎡程が発掘調査がなされ、弥生時代中期の集落址と弥生後期の円形周溝墓、古墳時代後期の古墳等が検出された。中でも、注目される出土遺物として、住居址内より2本の鉄剣が出土し、一本には絹の可能性がある布が巻き付けられていた。この他に鉄釧や銅釧等が出土している。

隣接する西一里塚遺跡群では近年に中部横断自動車道建設により大規模な発掘調査が行われ、古代の水田面下から弥生時代後期の円形周溝墓が群在して検出され、弥生時代後期としては、非常に希少な手の表現がある土偶型土製品が出土している。今回の



古仁田遺跡位置図(1:50,000)

調査区西に接する根々井大塚古墳は、平成9年に 県道拡幅に先立ち試掘調査が行われ、古墳の概要が 把握されている。根々井大塚が立地する底辺直径 約56 m、高さ10 m程の山は浅間山噴火からの由 来である「流山」であり、流山山頂部分に一部盛り 土と墳端部を成形により方形の墳丘が築造されてい る。規模は長軸17 mで、墳頂部に土坑状の主体部 と考えられる掘り込みが確認されている。出土遺物 は墳頂部から赤彩された高坏、器台が出土し、主体 部確認のサブトレンチからはガラス小玉が出土し た。これらの遺物より根々井大塚古墳は市指定史跡・ 瀧ノ峯古墳1.2号墳と並ぶ弥生時代末から古墳時代 初頭の墳墓であり、佐久平においては希少な遺跡で あることが解っている。

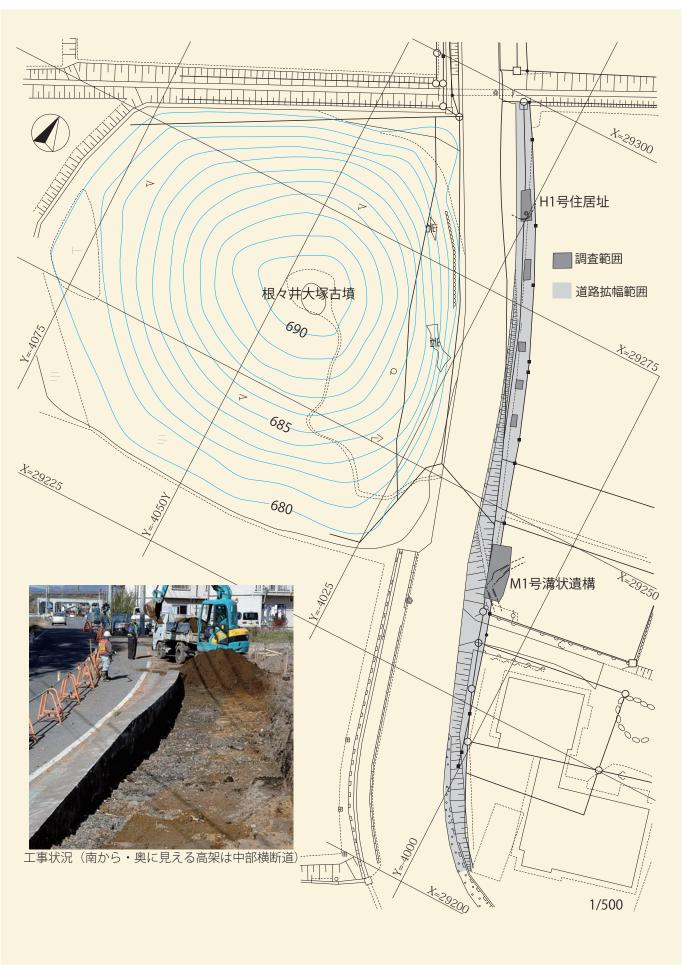
今回、遺跡群内で県道拡幅工事の計画がなされ、 佐久市教育委員会により試掘調査を行った。結果、 一部に遺構が発見され、記録保存目的の発掘調査を 行う事となった。なお、拡幅計画で拡幅部が狭く、 通常の発掘調査が行えない場所については工事立ち 合いとし、遺構が発見された場合はその都度、記録 保存目的の調査を行うこととなった。

●竪穴住居址

本址は調査区北側で検出された。形態は方形と考えられるが、東西方向が調査区外となり、また北側はカクランにより削平されており不明である。

規模は検出した住居址長さ 1.00m を測る。壁は 1.00m 程が検出され、壁高さは南側で最大 0.06 m を測る。形態は不明形であるが、検出された壁が僅かに曲がっていることから、住居址コーナー付近であることが推測される。ピットは 3 か所で確認された。P1 は形状から間仕切り溝の可能性がある。P2 の規模は径 0.52m・深さ 0.36m を測る。床はよく





古仁田遺跡調査全体図

踏しまり、硬質化していた。

本址からの出土遺物は非常に多く、5と6は床に据え置かれたような状態で出土した。1は無彩の高坏か鉢である。2は高坏脚部で「三角形」の透かしが一部確認できる。3と4は赤彩された鉢と考えられ、ミガキが施されている。5~8は甕であり、特に5は口唇部が折り返したように比厚している。いずれも文様は櫛描波状文と頸部に櫛描簾文が施されている。9は単孔の甑と考えられる。

これらの出土遺物から本址は弥生後期後半 (箱清 水式)と考えられる。

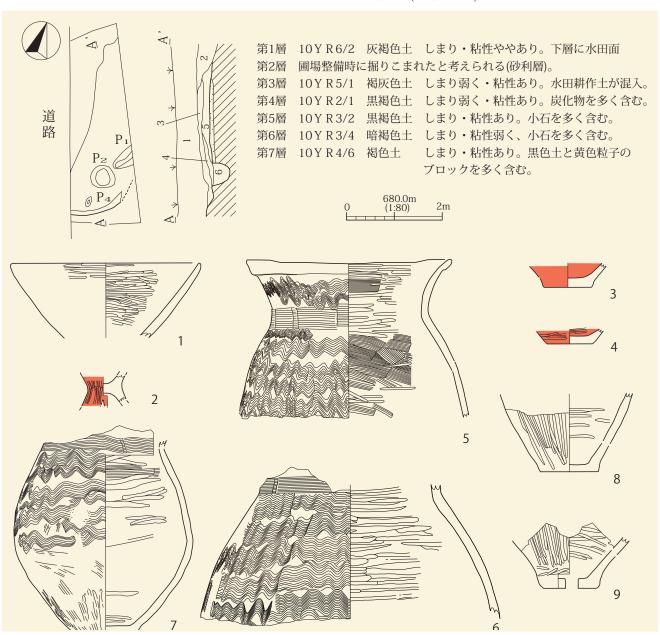
●溝状遺構

本址は調査区南側で検出された。調査範囲が非常 に狭く、なお傾斜地であったため、工事と同時進行 の立ち合い調査とし発掘を行った。

溝の形態は、北東方向から伸びた溝がほぼ 90 度に曲がり南東方向に伸びる形状であった。なお、屈曲する部分はすでに覆土が存在しなかったが、それぞれの溝状遺構が直行する痕跡もなかったことから、図の点線で示した形状であると判断した。溝の規模は幅約 1.0m・深さ 0.80m を測る。溝の底面は平坦であった。遺物は第3層から集中的に出土した。また、この3層中からは拳大や人頭大の比熱を受けた礫が多数出土した。

本址の性格は、溝の形状や大型の遺物の出土など を考え合わせると方形周溝墓の可能性が指摘でき る。

また、本址の所産時期はこれらの出土遺物から弥生後期後半(箱清水式)と考えられる。



H1号住居址及び出土遺物実測図





M1号溝状遺構及び出土遺物実測図

●調査の成果

今回の調査対象地は、北端の農業用水路近辺で北 に落ち込む地形で、また、中央部は基盤層である赤 岩泥流層が露出していたことから、西側の流山裾野 は現状道路を越えて延びていたことが推測できた。

調査は非常に狭い範囲であったが、根々井大塚古墳に先行する時期の住居の検出、また方形周溝墓の存在の可能性等、根々井大塚古墳の成立を考える上で大変大きな成果があった。今後は中部横断自動車道の調査成果も含め周辺部の歴史的景観を考察する必要があると考える。





H1号住居址(東より)



調査区全景(北より)

H1号住居址遺物出土状況



M1号溝状遺構土層断面

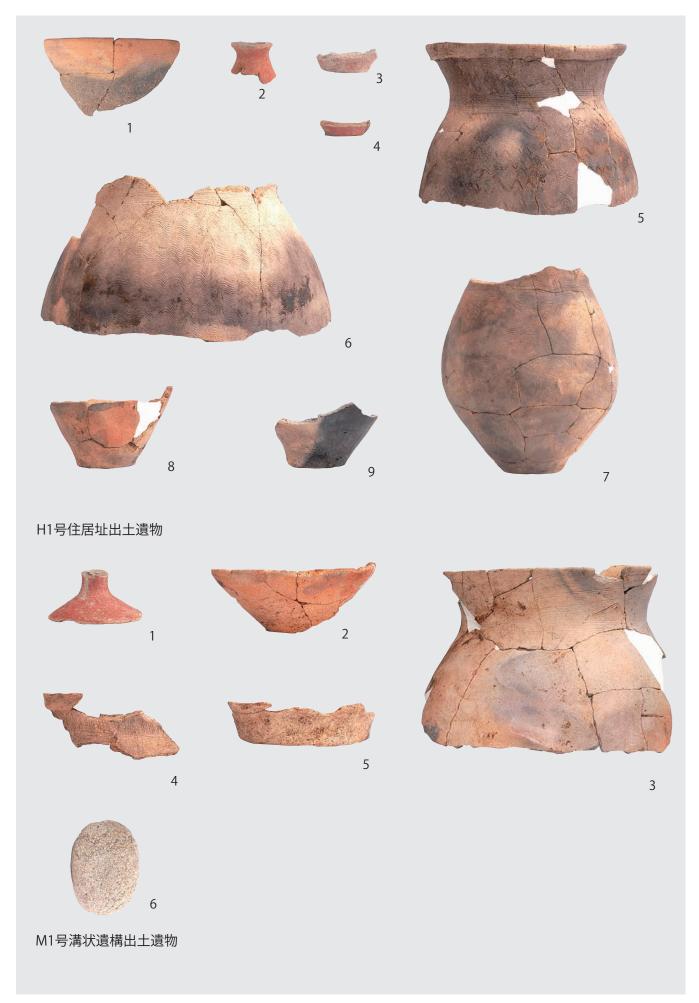


M1号溝状遺構



調査区より浅間山を望む





資料紹介

1. 北西ノ久保遺跡 出土埴輪の修復

小林眞寿

北西ノ久保の発掘調査は昭和57年度に第1次調 査が、昭和60年度に第2次調査が行われました。 埴輪は第1次の際、第17号周湟から出土したもの です。古墳本体は耕作等により消失したものの、古 墳を取り巻く溝(周湟)は残り、その中に埋没して いた多量の埴輪が発見されました。種類としては円 筒埴輪が最も多いのですが、巫女などの人物、馬・ 鹿などの動物、家・盾などの器財からなる形象埴輪 が、県内では最もまとまって出土しました。旧佐久 市では、昭和62年10月20日にこれらの埴輪を 市有形文化財に指定し、現在に至っています。

しかし、昭和60年代初めに石膏復元され、30 年近い年月を経て、復元箇所の劣化が進み、現状を を保つのが難しい状況となってきたため、平成26 年8月26日付け26佐教文財154号において指定 文化財の現状変更の許可を得て、復元部分の劣化箇 所の修復を行いました。その際、第17号周湟出土 埴輪すべての再接合作業も行い、幾つかの新たなる



飾馬(23)修復前



飾馬(23)修復後側面

発見がありました。それにより、従来とは異なる復 元箇所が生じたため、本稿において、報告を行いま す。

現状変更を行ったものは以下の通りです。 形象埴輪一飾馬2点、裸馬1点、鹿1点、にわと り1点、女子像2点、家1点、靱1点、盾3点 円筒·朝顔形埴輪-円筒埴輪3点、朝顔形埴輪2点

●飾馬(23)の修復

全体に石膏が経年劣化により脆くなっており、脚 が1本剥離している。着色も復元当初に比べると色 が薄くなっているため、劣化が激しい石膏部分を削 り落とし、エポキシ樹脂による充填補強を行い、石 膏復元の器面の凸凹を滑らかに整えた後、アクリル 水彩絵具による再着色を行った。

その他に写真矢印に示した部分の改修を行った。 1-耳及び鬣が長すぎることが判明したため、短く した。2-鏡板の接合点を新たに発見したため、再 接合した。3-馬鈴ではなく馬鐸が付く事が判明し たため付け替えた。4-本来、先端に向かい細くな るはずの脚が寸胴である。また、端部の切れ込みは 全て後ろにつくはずが、前に表現されている部分が 認められるため、切り離して再接合をし、形状を整 えた。5-形状が完全に復元されていなかった尻尾 を復元した。

●飾馬(22)の修復

右前脚が1本剥離していたため再接合を行った。 鬣が長すぎるため、短くした。石膏復元の器面の凸



飾馬(22)修復前



飾馬(22)修復後

凹を滑らかに整えた。着色も復元当初に比べると色が薄くなっているため、アクリル水彩絵具による再着色を行った。

●裸馬(24)の修復

脚の向きが前後逆のものが2本あったため、切り離して再接合を行った。腰の位置が高すぎて前屈みになっているので、脚の高さを調整し、背中が水平になるようにした。着色も復元当初に比べると色が薄くなっているため、石膏復元の器面の凸凹を滑らかに整え、アクリル水彩絵具による再着色を行った。他の2点の飾馬には認められない乳房が表現されているため、この埴輪は雌馬であることが判明した。なお、2点の飾馬は乳房の表現が認められないため、牡馬と思われる。

●鹿(25)の修復

頭部しか残存していない埴輪であるが、鹿埴輪は 出土例が少なく、希少である。石膏は部分的にしか 補填されていたため。残存部分全体に樹脂を補填し、



裸馬(24)修復前



裸馬(24)修復後



鹿(25)修復後

石膏復元時の器面の凸凹を滑らかに整えた後、アクリル水彩絵具により着色を行った。



鶏(26)修復前



鶏(26)修復後

●鶏(26)の修復

鶏冠の形状が、群馬県出土の鶏埴輪と比較すると 先端部分が丸すぎるため鋭く作り直した。石膏復元 時の器面の凸凹を滑らかに整えた。着色も復元当初 に比べると色が薄くなっているため、アクリル水彩 絵具による再着色を行った。

●女子像(2)の修復

頭髪部分に新たな接合破片が発見され、髪型が判明したため、頭髪全体を復元した。腰帯部分が完全に復元されていなかったので復元を行った。その他、石膏未充填の欠損部分にエポキシ樹脂を充填した。石膏復元の器面の凸凹を滑らかに整えた。着色も復元当初に比べると色が薄くなっているため、アクリル水彩絵具による再着色を行った。

- ●女子像(1)の修復 石膏復元の器面の凸凹を滑らかに整えた後、アクリル水彩絵具による再着色を行った。
- ●家(21)の修復 石膏復元の器面の凸凹を滑らかに整えた後、アクリル水彩絵具による再着色を行った。

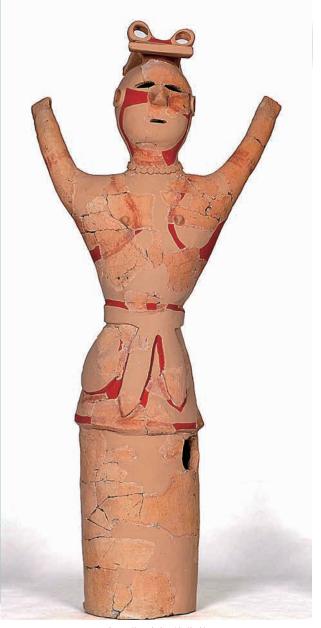
●靱(12)の修復

石膏復元の器面の凸凹を滑らかに整えた後、アクリル水彩絵具による再着色を行った。現状では本来の形状が分らないため、欠損部分を完全復元した。

- ●盾 (13)・(15)・(16) の修復 石膏復元の器面の凸凹を滑らかに整えた後、アク リル水彩絵具による再着色を行った。
- ●朝顔形埴輪(27)・(28)の修復 石膏復元の器面の凸凹を滑らかに整えた後、アク リル水彩絵具による再着色を行った。
- ●円筒形埴輪(34)・(35)・(36)の修復 石膏復元の器面の凸凹を滑らかに整えた後、アク リル水彩絵具による再着色を行った。



女子像(2)修復前→修復後



女子像(1)修復後











靱(12)修復前→修復後

家(21)修復前→修復後









盾(13)修復前→修復後

盾(16)修復前→修復後









盾(15)修復前→修復後

朝顔(28)修復前→修復後











円筒 (34)・(35)・(36) 修復後

朝顔(27)修復前→修復後

●佐久市指定有形文化財 北西ノ久保遺跡出土の埴輪一覧表

No.	類別		内容	報告書	備考
1	形象埴輪	人物	女子像	第 331 図	
2	形象埴輪	人物	女子像	第 332 図	頭部~胸部~脚部
3	形象埴輪	人物	女子像	第 333 図- 1	胴部~脚部
4	形象埴輪	人物	女子像	_	頭部の一部
5	形象埴輪	人物	男子像	第 333 図 - 2	胴部、片腕
6	形象埴輪	人物	男子像	第 333 図- 3	胴部
7	形象埴輪	人物	男子像	第 334 図- 3・10	兜、鷹、みずら
8	形象埴輪	人物	男子像	第 334 図- 1・21	頭部部分、みずら
9	形象埴輪	人物	不明	第 334 図- 5	頭部部分
10	形象埴輪	人物	不明	_	頭部部分~首~肩
11	形象埴輪	人物	不明	_	首~肩
12	形象埴輪	器財	靫	第 341 図- 2	
13	形象埴輪	器財	盾	第 339 図	
	形象埴輪		盾	第 340 図- 1	
15	形象埴輪	器財	盾	第 340 図-2	
	形象埴輪		盾	第 341 図- 1	
17	形象埴輪	器財	盾	_	
18	形象埴輪	器財	盾	第 342 図- 1	
19	形象埴輪	器財	盾	第 342 図-3	
20	形象埴輪	器財	太刀	第 343 図- 1	
21	形象埴輪	器財	家	第 338 図	
22	形象埴輪	動物	馬	第 335 図	飾り馬
23	形象埴輪	動物	馬	第 336 図	飾り馬
	形象埴輪		馬	第 337 図- 1	裸馬
25	形象埴輪	動物	鹿	第 337 図- 2	頭部~首
26	7 15 - 4 · 1 — 1 iiii	動物	鶏	第 337 図- 3	
27	朝顔埴輪			第 344 図- 1	
28				第 344 図- 2	
29	朝顔埴輪			第 344 図- 3	
30	朝顔埴輪			第 344 図- 4	
31	朝顏埴輪			第 344 図- 5	
32				第 344 図- 7	
	朝顔埴輪			-	
	円筒埴輪			第 345 図- 1	
35	円筒埴輪			第 345 図 - 2	
36				第 345 図- 3	第 345 図ー 4 同じ
37	円筒埴輪			第 345 図- 5	第 348 図一 1 同じ
38				第 345 図- 6	
39	円筒埴輪			第 345 図-7	
40				第 345 図- 8	
41	円筒埴輪			第 346 図- 1	
42	円筒埴輪			第 346 図- 2	
43	円筒埴輪			第 346 図 - 3	

No.	類別	内容	報告書	備考
44	円筒埴輪		第 346 図- 4	
45	円筒埴輪		第 346 図- 5	
46	円筒埴輪		第 346 図- 6	
47	円筒埴輪		第 346 図ー 7	
48	円筒埴輪		第 346 図- 8	
49	円筒埴輪		第 346 図- 9	
50	円筒埴輪		第 346 図- 10	
51	円筒埴輪		第 346 図- 11	
52	円筒埴輪		第 346 図- 12	
53	円筒埴輪		第 347 図一 1	
54	円筒埴輪		第 347 図- 2	
55	円筒埴輪		第 347 図- 3	
56	円筒埴輪		第 347 図- 4	
57	円筒埴輪		第 347 図- 5	
58	円筒埴輪		第 347 図- 6	
59	円筒埴輪		第 347 図- 7	
60	円筒埴輪		第 347 図- 8	
61	円筒埴輪		第 347 図一 9	
62	円筒埴輪		第 347 図- 10	
63	円筒埴輪		第 347 図- 11	
64	円筒埴輪		第 347 図- 12	
65	円筒埴輪		第 347 図- 13	
66	円筒埴輪		第 347 図- 14	
67	円筒埴輪		第 348 図- 2	
68	円筒埴輪		第 348 図- 3	
69	円筒埴輪		第 348 図- 4	
70	円筒埴輪		第 348 図- 5	
71	円筒埴輪		第 348 図- 6	
72	円筒埴輪		第 348 図- 7	
73	円筒埴輪		第 348 図-8	
74	円筒埴輪		第 348 図- 9	
75	円筒埴輪		第 348 図- 10	
76	円筒埴輪		第 348 図- 11	
77	円筒埴輪		第 348 図- 12	
78	円筒埴輪		_	
79	円筒埴輪		_	
80	円筒埴輪		第 349 図- 2	
81	円筒埴輪		第 349 図- 3	
82	円筒埴輪		第 349 図- 5	
83	円筒埴輪		_	
	•			



佐久市指定有形文化財 北西ノ久保遺跡出土の埴輪(形象埴輪)



佐久市文化財

年

報 24

2016年3月31日

編集・発行 佐久市教育委員会

〒 385-8501 長野県佐久市中込 3056 社会教育部 文化振興課 文化財事務所 〒 385-0006 長野県佐久市志賀 5953

Tel 0267-68-7321

印 刷 所 キクハラインク有限会社